

後援会 たより

2025年 No.54 春

発行日 2025年5月10日

大阪電気通信大学後援会
<http://www.dentsukouenkai.com/>



大学院への進学のお勧め / クラブ活動紹介
なわてん卒業研究・卒業制作展

2025年度 前期 行事予定表

工学部 / 情報通信工学部 / 建築・デザイン学部
健康情報学部 / 医療健康科学部 / 医療福祉工学部
総合情報学部

大学院 (工学研究科 / 医療福祉工学研究科
総合情報学研究科)

4月	2(水)	入学式
	3(木)～4(金)・7(月)	新入生オリエンテーション
	14(月)	前期授業開始
	26(土)	補講日
	29(火・祝)昭和の日	授業日
5月	11(日)	大学院入学試験
	24(土)	補講日
6月	1(日)	オープンキャンパス
	10(火)	6月期学位授与者発表〔院・学部〕
	20(金)	6月期学位授与式
	21(土)	後援会総会
	21(土)	補講日
7月	5(土)	補講日
	13(日)	オープンキャンパス
	15(火)	前期授業終了
	16(水)	補講日
	17(木)～18(金)・22(火)～24(木)	前期定期試験
	27(日)	大学院入学試験
	30(水)～8/1(金)	前期追試験
8月	3(日)	テクノフェア
	10(日)～17(日)	夏季一斉休業
	23(土)	オープンキャンパス
	25(月)～26(火)	蔵書点検 (図書館休館)
	26(火)～27(水)	成績発表〔院・学部〕
28(木)～29(金)	9月期卒業再試験	
9月	7(日)	オープンキャンパス
	8(月)	9月期学位授与者発表〔院・学部〕
	13(土)	教育懇談会
	19(金)	大学祭準備
	20(土)～21(日)	大学祭
	22(月)	振替休日 (4/29 授業実施に伴う振替)
26(金)	9月期学位授与式/ 9月期入学式 (院)	

後援会 たより

No.54 Contents

- 後援会会長あいさつ
P02 厚くて熱い大学生活を
大阪電気通信大学後援会 会長 石橋 美和
- 学長からごあいさつ
P03 皆さんの主体的な学びを応援します
大阪電気通信大学 学長 塩田 邦成
- お知らせ
P04 2024 (令和6) 年度 活動報告
- P05 三文の徳食堂
- P06 大学院への進学の勧め
医療福祉工学研究科長 藤川 智彦
- キャリアセンターたより
P08 就職動向について
キャリアセンター部長 土田 修
- P10 学部別就職先リスト 2023-2024
- P16 資格学習支援センター
- 学務課たより
P18 各種奨学金について
- P20 オリコ学費サポートプラン
- P22 教育懇談会のお知らせ
- P23 ご入学おめでとうございます
- P24 なわフェス'24
- P26 建築学科合同卒業制作展
- P28 なわてん「後援会から副賞を贈呈」
- P39 後援会による学生応援企画！
- P40 父母の声
- P42 クラブ活動紹介
- P44 後援会たより表紙2025春・秋号決定!!
応募作品のご紹介
- P46 大学への問い合わせ・キャンパス案内図
- P48 後援会規約・貸与奨学金運用規程



cover design

ゲーム & メディア学科
4年次 佐武 美咲

concept

コンセプトは「春と芽吹き」です。

春は冬の寒さがやわらぎ、植物が芽吹く季節です。その情景を表現するために、髪飾りや背景、装飾に花と曲線を取り入れました。さらに、入学などの新たな始まりをイメージし、目を閉じて物思いにふけるポーズを取り入れました。

この冊子に写真を載せさせていただいた学生の方は後援会事務室までご連絡ください。薄謝を差し上げます。

会長 あいさつ

厚くて熱い大学生活を



大阪電気通信大学後援会 会長 石橋美和

新入生の皆さん、ご家族の皆さま、ご入学おめでとうございます。昨年、私達の生活を直撃した令和の米騒動に代表されるような諸物価の高騰等もあり、特に保護者の方々におかれましては、何かと大変なことも多かったかとお察しいたしますが、何はともあれ心よりお祝い申し上げます。

後援会は保護者と学内の教職員で構成されており、学生の皆さんの支援と応援を目的に活動しています。まずは食に関する支援として「三文の徳食堂」があります。本学では学内食堂にて100円で朝食を提供しています。これは朝食を抜きがちな学生にしっかり食べて欲しいという思いから始まった取組です。他にも月に一度、激安価格で昼食を摂ることができる「学生応援day」があります。どちらの取組も大学と共同で行っており後援会からも費用の一部を支援しています。その他、情報系資格取得者への受験料の支援、学会や研究発表時の旅費の補助、部活動への支援、学生のための施設整備など様々な形で大学と共に学生を支援しています。また、後援会たよりやHPなどを通じて様々な情報提供も行っておりますので、ぜひお子様の大学に関心を持っていただき、大学祭などのイベント時は大学に足をお運びくださいますようお願い申し上げます。

さて、今回ご入学される皆さんは多くの

方々が数年後には社会人として羽ばたいていかれることになるでしょう。そこからは何十年もの間、社会のどこかに自分の存在価値を創り出していく必要が出てきますが、これからの社会はこれまでよりもはるかにスピード感がありますので、ドラスチックな変化の中に身を置くことになるはず。例えば、AIとの共存等はもはや当たり前のことになりつつあります。そんな中で、私達が生きていく上で、変わらず必要となることがあります。それは、常に自分の価値を高め、必要とされる存在であり続けることです。大学で過ごす時間は、そのための準備をする期間とも言えます。それは、大学で学ぶ専門的な知識や具体的なスキルだけでなく、どこに行っても、どんな時代が来ても通用する人間力とも言えるものを養うためのもので、数多くの経験や出会いによる真剣で濃厚な時間によって熟成されるものかと思えます。どうか、皆さん、この数年間、1秒たりとも無駄にせず、厚くて熱い時間にしてください。

最後になりましたが後援会は保護者目線、学生を第一に考えて活動を進めていきたいと思えます。ご不明な点などございましたら遠慮なく後援会にご連絡ください。

今後とも一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

学長からごあいさつ

皆さんの主体的な学びを応援します



大阪電気通信大学 学長 塩田邦成

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ご家族・ご関係者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

皆様とともにこの良き日をお祝いできることを、大変うれしく思います。新しい環境での大学生活に、不安を感じておられる新入生や保護者の皆さまもいらっしゃることと思いますが、本学では、新入生の皆さんが安心して充実した大学生活を送れるよう、全教職員が一丸となって支援してまいります。どうぞ大阪電気通信大学の一員として、有意義な学生生活をお過ごしください。

本学は1961年の開学以来、時代が求める技術者の育成に伝えてきました。卒業生は約59,800人。現在も社会の各分野で活躍しています。近年では学部・学科の新増設、105分授業の導入や新カリキュラムへの移行など、教育改革を進めてまいりました。今年度は健康情報学部を新設し、より時代のニーズに応じた教育の展開を図っています。

本学の教育理念は「実学教育で人間力と技術力をつちかう」です。社会的使命に応えて、変化し続ける大学、社会の変化に対応できる人材を輩出続ける大学であろうと考えています。これが本学が目指す「役立つ大学」です。

そして、重視している教育は、ものづくり、実験、実習を中心とした実学教育です。そのための環境整備には力をいれています。

また、社会との共同や専門の異なる分野との協働にも力を入れ、異分野の学科横断プロジェクトや学内外の会社・団体・個人や市区町村が抱える幅広い課題を、クライアントとも連携しながら創造性豊かに解決する本格的な問題解決型プロジェクトの授業を推進しています。

こうした正課授業に加え、学生の創意工夫あふれる創造的なプロジェクトの育成にも取り組んでいます。自由工房ではヒト型レスキューロボット、ソーラーカーなどのパートが大会を目指して取り組んでいます。公式VTuberを開発、運用する電ch!(でんちゃん)、そして、最近話題のesports projectなどを大学が支援しています。

データ活用やデジタル技術の進化により、世界中でデジタルトランスフォーメーション(DX)が進んでいます。これからますます必要となるDXに対応するデジタル人材育成に向けて、ICT(情報通信技術)の充実にも力を注いでいます。その実現のために、皆さんにはPCの準備をお願いしました。これを十分活用して、教育研究を行います。正課教育においては、全学情報教育として、「コンピュータリテラシー」と「数理・データサイエンス・AI」(文部科学省認定)はもとより専門におけるICTの活用も進め、「デジタルスキル」を身につけられる様々なカリキュラムを用意しています。

学生の学びと学生生活を支援するために、グループ担任制度も導入しています。3年次または4年次には、卒業研究・卒業制作に向けて、担当教員がお一人お一人に合わせた指導を行います。困ったことがあれば、グループ担任や担当教員、または各事務窓口へ、どうぞ気軽にご相談ください。また、年2回実施している教育懇談会の場も活用ください。

学生生活は、長いようで過ぎ去ってみれば短いものです。学生の皆さんお一人お一人が勉学に励み、将来の姿を思い描きながら、充実した日々を過ごされ、さらに飛躍されまことを心より願っています。

2024(令和6)年度 活動報告

月日	内 容	備 考
4.23	定期総会案内送付	会員 5,858 件
4.26	2023 年度会計監査	会計監査
	後援会・友電会貸与奨学金委員会	① 2023 年度「後援会・友電会」拠出金及び貸与奨学金会計報告について ② 回収困難債権の対応状況について ③ その他
5.14	出席集計システム利用のご案内送付	1,403 件 (新1年生、編入、転部、転科含む)
5.18	第6回役員会(ハイブリッド会議)	① 2023 年度事業報告及び決算報告について ② 2024 年度事業計画及び予算について ③ 2024 年度新役員選出について 出席者 29 名
5.29	後援会たよりNo.52・学報No.346 及びキャンパスカレンダー送付	会員 5,847 件
6.8	総会	寝屋川キャンパス J号館 302 教室 ① 2023 年度事業報告、決算報告および会計監査報告 ② 2024 年度事業計画および予算について ③ 2024 年度役員選出 出席者約 100 名
	講演会	生活を化学・生物学の視点から研究する実践的な学び ～現象・原理の理解から健康維持へ～ 工学部基礎理工学科環境化学専攻 教授 齋藤安貴子先生 出席者約 130 名
	学科別懇談会	学科の先生方との懇談会 出席者約 120 名
7.6	第1回役員会(ハイブリッド会議)	① 2024 年度行事予定について ② 後援会たより 2024 年秋号 (No.53) 発行について 出席者 30 名
7.29	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用
8.3	第2回役員会(ハイブリッド会議)	大学祭・キャンパス探訪取り組みについて 出席者 28 名
8.19	就職部からのお知らせハガキ送付	4,482 件
8.23	前期成績表送付及び秋季教育懇談会案内送付援助(郵送料援助)	5,324 件
8.25	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用
9.21	大学祭	喫茶、プラコースター作り、輪投げ、すくいもの
10.5	第3回役員会	① なわフェス(11/3日)について ② キャンパス探訪(10/14祝授業日)について 出席者 28 名
10.14	施設見学・キャンパス内探訪	寝屋川・四條畷キャンパス対面授業の見学・取材撮影、及び3D造形先端加工センター見学 参加者 15 名
11.3	なわフェス2024	プラコースター作り、輪投げ、まとあて
11.27	後援会たより (No.53)・学園報No.347号・なわてん案内送付	会員 5,644 件
12.25	入学手続き者に学園報No.347号と後援会たよりNo.53を送付	1,224 件
2025.1.11	第4回役員会(ハイブリッド会議)	① 2025 年度からの新規支援事業について ② なわてんについて ③ なわフェスの報告 出席者 28 名
2.9	なわてん	後援会賞の選考
2.15	後期成績表送付援助(郵送料援助)	4,117 件
3.8	第5回役員会(ハイブリッド会議)	① 2024 年度収支中間報告 ② 2025 年度予算執行について ③ 後援会たより 2025 年春号、秋号表紙デザイン選考について ④ 総会について ⑤ 学生への福利厚生への支援策について 出席者 32 名
3.12	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用
3.26	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用

後援会が協力!

エル・スエヒロ 三文の徳食堂

学生限定 円朝食

ご飯・味噌汁付

前期
・4月14日(月)～7月15日(火)

後期
・10月2日(木)～12月24日(水)
・2026年1月5日(月)～1月9日(金)

授業日のみ営業(祝日の授業日も営業)



寝屋川キャンパス J号館1階食堂
AM8:30～10:00

四條畷キャンパス 6号館1階食堂
AM9:00～10:00

大学院への進学のお勧め

医療福祉工学研究科長 藤川 智彦



大学院という言葉にどのようなイメージを持っているでしょうか。難しいことをする特別な場所というイメージがあるかもしれませんが、全く特別な場所ではありません。確かに、研究を主としておこなう場所ですが、研究とはなんなのでしょうか。大学院を進んだ学生はすべて研究者になるのでしょうか。そうではありません。ここでは、大学院の勧めということで、大学院における教育の有用性を説明したいと思います。

さて、大学院の必要性の前に大学卒業（大学卒）を考えてみましょう。本学を卒業すると学士の工学や情報工学となる学科や専攻が多いです。他には情報学や理学療法、健康科学などもあります。大学卒の学士とはどのような能力を有するものをいうのでしょうか。また、専門学校卒や高校卒とはどのように違うのでしょうか。高校卒は高校の教育課程を卒業したものであり、専門的な知識は高くない状況です。その上に、専門的な知識を有した専門学校卒があります。大学卒も知識のみであれば、専門学校卒とほとんど変わりません。何が違うのかというと、卒業研究があるかないかということになります。ほとんどの大学は卒業研究または卒業制作を必修科目としており、この卒業研究または卒業制作をクリアしたかどうかで大学卒の有無となります。この卒業研究とは何を手に入れることなのでしょうか。大学で得た専門知識を統合して、研究や制作に取り組み、自身を成長させることでしょうか。確かに、そのような一面はありますが、最も必要なことは答えのないものに取り組み、客観性を駆使して、自身で得た答えを他の人々に理解していただくこととなります。芸術系であると感動していただくこととなるでしょうか。簡単に言いますと、大学の講義における知識の修得課程において、正解があります。このため、正誤を利用して知識力を点数化しますが、卒業研究には正誤はありません。なぜなら、誰も知らないことを如何に素晴らしいかを伝えることが評価となるためです。答えがないのに評価するのはどのようなことかと思われる方もおられると思いますが、人生に正解がないのと同

じ意味です。どのように考えて、どのように説明して、どのように行動するか。この過程で得られた客観的なものを提示して、周りの人に理解してもらうことが、卒業研究になります。すなわち、与えられたものを覚える、または、理解するような受動的な行動ではなく、自身の考えを如何に整理して、わかりやすく、簡潔に説明し、その行為を評価してもらう能動的な行動になります。与えられたことだけをする受動的な行動ではなく、与えられたことから、さらに先を見据え、能動的な一歩を踏み出す能力と言えます。では、この能力は卒業研究を1年おこなっただけで、手に入るでしょうか。当然手に入れなければなりません。近年の情報化社会において、わからないこと、すなわち、解答があるものはインターネットで答えが導けますし、AIの発達で、簡単に答えが表示される状況です。このような環境で、答えがないものを自身ですべて考えて、説明することは非常に難しいことになっています。また、研究に関することはインターネットでは多く見つからず、さらに、守秘義務がありますので、ネットに情報を流すこともできません。そのため、学生は初めてネットを頼らず、自身で考えなければならない状況になります。これが大学卒に必要な問題解決能力になります。すなわち、卒業研究のみがその能力を得られるチャンスと言えます。私も含め、保護者世代はここまでの情報社会ではなかったため、すべて自身で熟考し、友人や先輩、先生方に相談し、失敗を反省しながら、少しでも良い結果になるように、自身の責任で選択してきましたが、今は多くの情報があるため、熟考せずに、自身の責任も深く考えなくても答えが見える環境にあります。このような環境因子を踏まえると、卒業研究に真摯に取り組むことが本当の意味での人間力の成長につながると言えます。なお、卒業研究に学生自身のプレゼンテーションが含まれているのはこのようなことに起因しています。

大学卒について、私の考えを記述しましたが、大学院卒はどのように違うのでしょうか。

ここでは、大学卒+2年の修士で考えます。先ほど述

べたように、大学卒でも学生個々の成長は十分期待できますが、卒業研究のプレゼンテーションを例に挙げても、この1回の経験で、学生自身が理解して、正確に表現できていると言えるでしょうか。卒業研究は能動的な行動の初めての経験であり、正確に表現することの難易度の高さを初めて知ることになります。簡単に言えば、体験重視の課題とも言えます。大学院はこの体験を経験として生かし、学内外での複数回の発表を通して、自身のスタイルを完成させることとなります。言葉の重さ、表現や態度の重要性、発言の仕方などの客観性を駆使して、自身を成長させることができます。これだけでは、学生個人の成長の一助のようにも見えますが、大学院での最も重要なことは、個々ではなく、チームになることです。

大学院生は個々の研究も進めますが、研究室のリーダーとしての行動も求められます。

当然、研究に関しては先輩ですので、その能力を十分発揮できますし、先生や後輩から自身を客観的に評価される環境も容易に得ることができます。この経験は自身の社会における立場の構築において、非常に重要な経験になります。さらに、授業や実習のTA（ティーチングアシスタント）なども経験し、他人との意思伝達や交流においても成長できます。社会ではチームリーダーが必要であり、その発言はリーダーであれば当然責任を負わねばなりません。この経験は大学院でしか、得られない成長の機会であると思います。このように、大学院生は他人からの信頼を得る方法を経験でき、その信頼は自身の発言や行動の責任にもつながります。このように、大学院まで修了することで、学部からの流れのすべてが繋がっていることがわかります。企業などの組織では、個々も重要ですが、チームとしての意義も重要です。その核となる考えや行動を取れる人材が大学院卒といえるでしょう。実際に、ものづくりも個々ではなく、チームとなるため、工学は大学院、特に博士前期課程の+2年までを修了することが重要であると言えます。

次に、社会的な状況で大学院を考えてみましょう。厚

生労働省「令和4年賃金構造 基本統計調査結果の概況—学歴別」によると、大学院を修了した人の給料は平均で464,200円、学部卒の給料は平均で362,800円となっています。12ヶ月分を掛け算すると、大学院卒の年収は平均5,570,400円、学部卒の年収は4,353,600円となり、差は1,216,800円になります。さらに、2014（平成26）年に内閣府経済社会総合研究所が発表した「大学院卒の賃金プレミアム」では大学院修了と大学卒の生涯賃金推計値が勤続年数や居住地を使って統計的に推計されており、大学院卒は336,212,645円、大学卒は285,872,101円となり、大学院修了と大学卒とは生涯賃金の差は約5,034万円の差があります。大学院では特定の研究を通じて、専門性の高い知識や技能や経験が身につくため、実社会においても特定分野に精通した専門性の高いスキルを持つ人材として活躍することができると提示されています。さらに、大学院への進学者が多い分野は理学分野や工学分野であり、理学・工学の知識と経験を実社会に活かせる社会的環境もあり、そこで活躍している人材が多いことが大学院修了者全体の生涯賃金を高める一因になっていると記述されています。なお、有名大学の理工・農学系の大学院進学は約85%もあり、ほとんどの学生が大学院に進学しています。このような数値データを踏まえても、理工系の大学院へは進むべきであると言えます。

個人的な意見を多く書きましたが、大学院の進学を前提に学生の将来を検討していただきたいと切に願うものであります。これには後援会の皆様のご理解も必要であり、学生が大学院に行きたいと述べた場合は是非背中を押して欲しいと思います。



就職動向について

キャリアセンター部長 土田 修



■ 2025年卒就職活動の総括

1. 「売り手市場」の継続

学生にとって「売り手市場」が継続し、企業の採用意欲は高く、多くの企業が前年よりも採用数を増やしました。特に、IT業界の採用意欲が顕著です。このため、学生は多くの企業から内定を得ることができ、就職活動において有利な状況にありました。

2. 採用活動の早期化

企業は人材獲得競争の激化により、採用活動を早期化しました。多くの企業が、採用広報解禁（3月）以前に面接を開始し、内定を出しています。このことが学生の就職活動にも影響を与え、早期に内定を得る学生が増加しました。

3. 学生の活動量の減少

就職活動が早期化する一方、学生の活動量は減少傾向にあります。これは、企業側からの積極的なアプローチや、早期に内定を得られる状況があるためと考えられます。学生は、限られた数の企業に絞って就職活動を行う傾向があります。

4. 内定辞退の増加

学生は複数の企業から内定を得る傾向があるため、内定辞退も増加しました。企業にとっては、内定辞退は大きな課題であり、採用活動の長期化につながっています。

5. 採用におけるミスマッチ

企業は質よりも量を重視する傾向がありますが、実際には、思うように採用人数を確保できない状況が続いています。また、学生も早期に内定を得た後であっても、より良い企業を求めて就職活動を続けることがあり、企業と学生の間でミスマッチが起りやすくなっています。

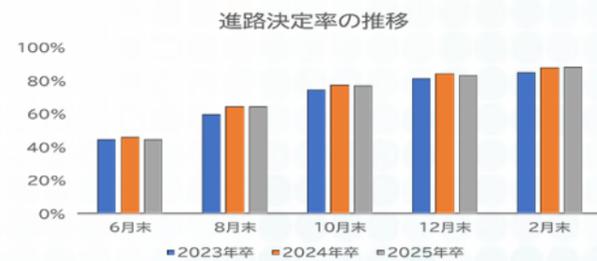
■ 本学学生の傾向

1. 早期化と長期化

2025年卒の進路決定率は、2024年6月までは前年を若干下回っていましたが、7月以降は前年同様のペースで推移しました。（グラフ参照）

夏季開催のインターンシップやオープン・カンパニーに参加し、早期から企業との接点を持ち、企業研究を進める等、選考開始が早まっていることに伴い、早期から就職活動を開始する学生が散見されました。

一方、早期に開始しても企業選択に迷い意思決定に時間がかかる学生や、内々定を得た後もより良い企業を探すために活動を継続する学生も見受けられました。



2. 働き方や待遇への関心の高さ

給与、福利厚生や勤務地への拘りだけでなく、ワーク・ライフ・バランスや入社後のキャリアパス等、働き方全般に関心を持つ学生が増加しました。

3. 多様な手段による情報収集

就職情報ナビサイトを主な情報源としながら、就活エージェントやスカウトサービス等を利用し、複数の情報源から企業情報を収集する学生が増加しました。これらのサービスは、自ら探索できない求人を紹介されることがありますが、希望していない求人を押し付けられることもあり、メリット・デメリットを考慮の上で利用の可否を判断する必要があります。

■ 2026年卒の就職活動状況

<企業>

1. 採用意欲は依然として旺盛

多くの企業が前年並みか、それ以上の採用を見込んでおり、特に大企業や一部の業界ではその傾向が顕著です。

人手不足の解消や事業拡大に伴う人材確保の必要性が高まっており、転職市場の過熱も新卒採用への意欲を高める要因となっています。このため、2026年卒の採用市場も引き続き「売り手市場」となっています。

2. 早期対策への注力

企業は採用広報解禁（3月）前のプレ期に学生との接点を増やし、認知度や志望度を高めることに注力しており、インターンシップやオープン・カンパニー等を通じて早期に学生にアプローチし、接点を持った学生を本選考につなげる動きが活発化しています。

面接や内定出しの時期も早期化する傾向にあり、優秀な学生を確保するために選考プロセスを前倒しで進める企業が増えています。

3. インターンシップ等の参加者確保に焦点

前述の通り、インターンシップやオープン・カンパニーの実施が活発化しており、特に夏季と冬季の実施率が高くなっています。

プログラム内容の拡充や受け入れ枠の拡大を図る企業が多い一方、参加者募集のための広報活動を強化する企業も増えています。他社と差別化し、学生に選ばれるプログラムの設計と広報活動が重要になっています。

<学生>

1. 早期からの活動

業界研究や企業研究を早期から始める学生が増えており、特にインターンシップ等が活発な時期に合わせて活動が活発化する傾向があります。早期選考を実施する企

業も少なくないため、学生も早めに選考対策に取りかかる傾向が見られます。

2. インターンシップ、オープン・カンパニーへの高い参加意欲

オープン・カンパニーへの参加率が高く、短時間で情報収集できるため、多くの学生が活用しています。5日間以上のインターンシップへの参加意欲も高くなっていますが、企業の受け入れ枠が少ないため、競争率が高まっています。

3. 就職活動の多様化

就職への意欲や志向、就活スタイルが多様化しており、学生の動きを捉えることが難しくなっています。「売り手市場」であることから、楽観的に捉える学生も少なくありませんが、学生の人気が集まる大企業の競争倍率は高いため、早期からの準備と対策が必要です。

■ キャリア形成・就職支援について

キャリアセンターでは変化する就職市場に対応し、学生一人ひとりのニーズに合わせた個別相談、キャリアカウンセリングを行いながら、学生が主体的にキャリアを考え、自ら行動し納得した進路に進んでいけるよう支援いたします。

キャリアや就職に関する悩みや不安を抱えておられるお子様には、遠慮なくキャリアセンターの相談窓口を利用されるようご助言下さい。

「大阪電気通信大学後援会」ホームページの「2024年10月18日付お知らせ」にて、「2024年度保護者向け就活セミナー」の録画をご視聴いただくことが可能です。

今後も皆様に役立つ情報の充実を図ってまいりますので、ご活用いただければ幸いです。

学部別就職先リスト 2023-2024

工学部			
(輸送用機械器具製造業)	Joyson Safety Systems Japan 合同会社	株式会社ミラノ工務店	株式会社大和ハウス工業株式会社
ダイハツ工業株式会社	トヨタ紡織株式会社	株式会社ヨシザワ建築構造設計	第一 Cutter 興業株式会社
芦森工業株式会社	株式会社ディーアクト	株式会社リョウセイ	中設エンジ株式会社
株式会社伸和製作所	三菱ロジスネクスト株式会社	株式会社ルポハウス	中電プラント株式会社
三菱精工株式会社	日産自動車株式会社	株式会社荻田建築事務所	中林建設株式会社
富士シート株式会社	富士シート株式会社	株式会社宮本組	朝陽電気株式会社
(保険業)	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	株式会社京阪エンジニアリングサービス	鉄建建設株式会社
(物品賃貸業)	ニシオティーアンドエム株式会社	株式会社熊谷組	東建コーポレーション株式会社
西尾レントオール株式会社	西尾レントオール株式会社	株式会社鴻池組	東洋建設株式会社
(不動産取引・賃貸・管理業)	ファースト住建株式会社	株式会社阪電工	藤井電気工事株式会社
株式会社アサヒファシリテイズ	株式会社アサヒファシリテイズ	株式会社三晃空調	南海辰村建設株式会社
株式会社オープンハウス・ディベロップメント	株式会社オープンハウス・ディベロップメント	株式会社三冷社	日鉄物産システム建築株式会社
株式会社ジェアール西日本総合ビルサービス	株式会社ジェアール西日本総合ビルサービス	株式会社精研	日本海工株式会社
(電子部品・デバイス・電子回路製造業)	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社	株式会社川瀬電気工業所	日本建設株式会社
RITA エレクトロニクス株式会社	RITA エレクトロニクス株式会社	株式会社大兼工務店	日本住宅株式会社
アルプスアルパイン株式会社	アルプスアルパイン株式会社	株式会社大林組	日本総合住生活株式会社
コーデンス株式会社	コーデンス株式会社	株式会社長谷工コーポレーション	日本電設工業株式会社
ダイキンレクサムエレクトロニクス株式会社	ダイキンレクサムエレクトロニクス株式会社	株式会社東栄住宅	八千代電設工業株式会社
二チコン株式会社	二チコン株式会社	株式会社明治大理石	不二熱学工業株式会社
ホシデン株式会社	ホシデン株式会社	株式会社木下工務店	富士電機 E & C 株式会社
株式会社オンテック	株式会社オンテック	株式会社浅沼組	鳳工業株式会社
株式会社ニプロン	株式会社ニプロン	株式会社浅川組	本四高速道路ブリッジエンジニアリング株式会社
株式会社京写	株式会社京写	株式会社澤村	野口建設株式会社
株式会社指月電機製作所	株式会社指月電機製作所	株式会社銭高組	野村建設工業株式会社
三重金属工業株式会社	三重金属工業株式会社	株式会社鍛田田工務店	矢作建設工業株式会社
(電気・情報通信機械器具製造業)	BEMAC Kiden 株式会社	関電プラント株式会社	(学校教育)
アイコム株式会社	アイコム株式会社	橋建設株式会社	京都市教育委員会
ナグシステム株式会社	ナグシステム株式会社	京成建設株式会社	京都府教育委員会
パール工業株式会社	パール工業株式会社	九興総合設備株式会社	高槻市教育委員会
パナソニックエレクトリックワークス 池田電機株式会社	パナソニックエレクトリックワークス 池田電機株式会社	栗原工業株式会社	国立大学法人京都大学
パナソニックライティングシステムズ株式会社	パナソニックライティングシステムズ株式会社	元古鉄工株式会社	寝屋川市教育委員会
フィガロ技研株式会社	フィガロ技研株式会社	五洋建設株式会社	神戸市教育委員会
プライムフラネットエナジー&ソリューションズ株式会社	プライムフラネットエナジー&ソリューションズ株式会社	高砂熱学工業株式会社	大阪市教育委員会
伊予電機株式会社	伊予電機株式会社	高山建設株式会社	大阪府教育委員会
株式会社GSユアサ	株式会社GSユアサ	高松建設株式会社	兵庫県教育委員会
株式会社エネゲート	株式会社エネゲート	佐藤工業株式会社	平安女学院中学高等学校
株式会社ディ・エム・シー	株式会社ディ・エム・シー	阪神高速技術株式会社	門真市教育委員会
株式会社デンソーテン	株式会社デンソーテン	三井ホーム株式会社	(化学工業・石油・石炭製品製造業)
株式会社ノダRFテクノロジーズ	株式会社ノダRFテクノロジーズ	三井住友建設株式会社	TOA 株式会社
株式会社パトライト	株式会社パトライト	三栄電気工業株式会社	ゴールド工業株式会社
株式会社下平電機製作所	株式会社下平電機製作所	三機工業株式会社	サラヤ株式会社
株式会社京都プラテック	株式会社京都プラテック	三宝電機株式会社	河村化工株式会社
		三和建設株式会社	株式会社アプリス
		住友林業ホームテック株式会社	光製薬株式会社
		上林建設株式会社	甲南化工株式会社
		新日本空調株式会社	昌立工業株式会社
		親和電気株式会社	生晃栄養薬品株式会社
		清水建設株式会社	大成化工株式会社
		生和コーポレーショングループ	田村薬品工業株式会社
		西松建設株式会社	(卸売業)
		西日本電気テック株式会社	アプライド株式会社
		西部電気建設株式会社	オーナンバ株式会社
		積水ハウス株式会社	ダイキンMRエンジニアリング株式会社
		積水ハウス建設関西株式会社	トヨタモビリティパーツ株式会社
		村瀬炉工業株式会社	ユニ・チャーム株式会社
		大阪装置建設株式会社	伊丹産業株式会社
		大鉄工業株式会社	株式会社ACN
		大日通信工業株式会社	株式会社オージーケーカブト
		大日本土木株式会社	株式会社ジェイ・サイエンス関西
		大末建設株式会社	株式会社三共製作所
		株式会社ミラノ工務店	株式会社寺岡精工
		株式会社ヨシザワ建築構造設計	
		株式会社リョウセイ	
		株式会社ルポハウス	
		株式会社荻田建築事務所	
		株式会社宮本組	
		株式会社京阪エンジニアリングサービス	
		株式会社熊谷組	
		株式会社鴻池組	
		株式会社阪電工	
		株式会社三晃空調	
		株式会社三冷社	
		株式会社精研	
		株式会社川瀬電気工業所	
		株式会社大兼工務店	
		株式会社大林組	
		株式会社長谷工コーポレーション	
		株式会社東栄住宅	
		株式会社明治大理石	
		株式会社木下工務店	
		株式会社浅沼組	
		株式会社浅川組	
		株式会社澤村	
		株式会社銭高組	
		株式会社鍛田田工務店	
		関電プラント株式会社	
		橋建設株式会社	
		京成建設株式会社	
		九興総合設備株式会社	
		栗原工業株式会社	
		元古鉄工株式会社	
		五洋建設株式会社	
		高砂熱学工業株式会社	
		高山建設株式会社	
		高松建設株式会社	
		佐藤工業株式会社	
		阪神高速技術株式会社	
		三井ホーム株式会社	
		三井住友建設株式会社	
		三栄電気工業株式会社	
		三機工業株式会社	
		三宝電機株式会社	
		三和建設株式会社	
		住友林業ホームテック株式会社	
		上林建設株式会社	
		新日本空調株式会社	
		親和電気株式会社	
		清水建設株式会社	
		生和コーポレーショングループ	
		西松建設株式会社	
		西日本電気テック株式会社	
		西部電気建設株式会社	
		積水ハウス株式会社	
		積水ハウス建設関西株式会社	
		村瀬炉工業株式会社	
		大阪装置建設株式会社	
		大鉄工業株式会社	
		大日通信工業株式会社	
		大日本土木株式会社	
		大末建設株式会社	
		株式会社ミラノ工務店	
		株式会社ヨシザワ建築構造設計	
		株式会社リョウセイ	
		株式会社ルポハウス	
		株式会社荻田建築事務所	
		株式会社宮本組	
		株式会社京阪エンジニアリングサービス	
		株式会社熊谷組	
		株式会社鴻池組	
		株式会社阪電工	
		株式会社三晃空調	
		株式会社三冷社	
		株式会社精研	
		株式会社川瀬電気工業所	
		株式会社大兼工務店	
		株式会社大林組	
		株式会社長谷工コーポレーション	
		株式会社東栄住宅	
		株式会社明治大理石	
		株式会社木下工務店	
		株式会社浅沼組	
		株式会社浅川組	
		株式会社澤村	
		株式会社銭高組	
		株式会社鍛田田工務店	
		関電プラント株式会社	
		橋建設株式会社	
		京成建設株式会社	
		九興総合設備株式会社	
		栗原工業株式会社	
		元古鉄工株式会社	
		五洋建設株式会社	
		高砂熱学工業株式会社	
		高山建設株式会社	
		高松建設株式会社	
		佐藤工業株式会社	
		阪神高速技術株式会社	
		三井ホーム株式会社	
		三井住友建設株式会社	
		三栄電気工業株式会社	
		三機工業株式会社	
		三宝電機株式会社	
		三和建設株式会社	
		住友林業ホームテック株式会社	
		上林建設株式会社	
		新日本空調株式会社	
		親和電気株式会社	
		清水建設株式会社	
		生和コーポレーショングループ	
		西松建設株式会社	
		西日本電気テック株式会社	
		西部電気建設株式会社	
		積水ハウス株式会社	
		積水ハウス建設関西株式会社	
		村瀬炉工業株式会社	
		大阪装置建設株式会社	
		大鉄工業株式会社	
		大日通信工業株式会社	
		大日本土木株式会社	
		大末建設株式会社	
		株式会社ミラノ工務店	
		株式会社ヨシザワ建築構造設計	
		株式会社リョウセイ	
		株式会社ルポハウス	
		株式会社荻田建築事務所	
		株式会社宮本組	
		株式会社京阪エンジニアリングサービス	
		株式会社熊谷組	
		株式会社鴻池組	
		株式会社阪電工	
		株式会社三晃空調	
		株式会社三冷社	
		株式会社精研	
		株式会社川瀬電気工業所	
		株式会社大兼工務店	
		株式会社大林組	
		株式会社長谷工コーポレーション	
		株式会社東栄住宅	
		株式会社明治大理石	
		株式会社木下工務店	
		株式会社浅沼組	
		株式会社浅川組	
		株式会社澤村	
		株式会社銭高組	
		株式会社鍛田田工務店	
		関電プラント株式会社	
		橋建設株式会社	
		京成建設株式会社	
		九興総合設備株式会社	
		栗原工業株式会社	
		元古鉄工株式会社	
		五洋建設株式会社	
		高砂熱学工業株式会社	
		高山建設株式会社	
		高松建設株式会社	
		佐藤工業株式会社	
		阪神高速技術株式会社	
		三井ホーム株式会社	
		三井住友建設株式会社	
		三栄電気工業株式会社	
		三機工業株式会社	
		三宝電機株式会社	
		三和建設株式会社	
		住友林業ホームテック株式会社	
		上林建設株式会社	
		新日本空調株式会社	
		親和電気株式会社	
		清水建設株式会社	
		生和コーポレーショングループ	
		西松建設株式会社	
		西日本電気テック株式会社	
		西部電気建設株式会社	
		積水ハウス株式会社	
		積水ハウス建設関西株式会社	
		村瀬炉工業株式会社	
		大阪装置建設株式会社	
		大鉄工業株式会社	
		大日通信工業株式会社	
		大日本土木株式会社	
		大末建設株式会社	
		株式会社ミラノ工務店	
		株式会社ヨシザワ建築構造設計	
		株式会社リョウセイ	
		株式会社ルポハウス	
		株式会社荻田建築事務所	
		株式会社宮本組	
		株式会社京阪エンジニアリングサービス	
		株式会社熊谷組	
		株式会社鴻池組	
		株式会社阪電工	
		株式会社三晃空調	
		株式会社三冷社	
		株式会社精研	
		株式会社川瀬電気工業所	
		株式会社大兼工務店	
		株式会社大林組	
		株式会社長谷工コーポレーション	
		株式会社東栄住宅	
		株式会社明治大理石	
		株式会社木下工務店	
		株式会社浅沼組	
		株式会社浅川組	
		株式会社澤村	
		株式会社銭高組	
		株式会社鍛田田工務店	
		関電プラント株式会社	
		橋建設株式会社	
		京成建設株式会社	
		九興総合設備株式会社	
		栗原工業株式会社	
		元古鉄工株式会社	
		五洋建設株式会社	
		高砂熱学工業株式会社	
		高山建設株式会社	
		高松建設株式会社	
		佐藤工業株式会社	
		阪神高速技術株式会社	
		三井ホーム株式会社	
		三井住友建設株式会社	
		三栄電気工業株式会社	
		三機工業株式会社	
		三宝電機株式会社	
		三和建設株式会社	
		住友林業ホームテック株式会社	
		上林建設株式会社	
		新日本空調株式会社	
		親和電気株式会社	
		清水建設株式会社	
		生和コーポレーショングループ	
		西松建設株式会社	
		西日本電気テック株式会社	
		西部電気建設株式会社	
		積水ハウス株式会社	
		積水ハウス建設関西株式会社	
		村瀬炉工業株式会社	
		大阪装置建設株式会社	
		大鉄工業株式会社	
		大日通信工業株式会社	
		大日本土木株式会社	
		大末建設株式会社	
		株式会社ミラノ工務店	
		株式会社ヨシザワ建築構造設計	
		株式会社リョウセイ	
		株式会社ルポハウス	
		株式会社荻田建築事務所	
		株式会社宮本組	
		株式会社京阪エンジニアリングサービス	
		株式会社熊谷組	
		株式会社鴻池組	
		株式会社阪電工	
		株式会社三晃空調	
		株式会社三冷社	
		株式会社精研	
		株式会社川瀬電気工業所	
		株式会社大兼工務店	
		株式会社大林組	
		株式会社長谷工コーポレーション	
		株式会社東栄住宅	
		株式会社明治大理石	
		株式会社木下工務店	
		株式会社浅沼組	
		株式会社浅川組	
		株式会社澤村	
		株式会社銭高組	
		株式会社鍛田田工務店	
		関電プラント株式会社	
		橋建設株式会社	
		京成建設株式会社	
		九興総合設備株式会社	
		栗原工業株式会社	
		元古鉄工株式会社	
		五洋建設株式会社	
		高砂熱学工業株式会社	
		高山建設株式会社	
		高松建設株式会社	
		佐藤工業株式会社	
		阪神高速技術株式会社	
		三井ホーム株式会社	
		三井住友建設株式会社	
		三栄電気工業株式会社	
		三機工業株式会社	
		三宝電機株式会社	
		三和建設株式会社	
		住友林業ホームテック株式会社	
		上林建設株式会社	
		新日本空調株式会社	
		親和電気株式会社	

株式会社中央エンジニアリング
株式会社東畑建築事務所
株式会社汎設計
三菱電機エンジニアリング株式会社
水土里ネットおきなわ
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
税理士法人ほはば
竹田設計工業株式会社
島津トラステック株式会社
日建設計ソリューション・マネジメント株式会社
有限会社荒井設計事務所
(製造業)
タカラスタンダード株式会社
永大産業株式会社
株式会社アートウインズ
株式会社青井黒板製作所
株式会社友安製作所
古林紙工株式会社
摂津金属工業株式会社
太陽パーツ株式会社
(教育、学習支援業)
株式会社京進
株式会社成学社
株式会社浜学園
新教育総合研究会株式会社
(サービス業)
ANAラインメンテナンステクニクス株式会社
アイデアル株式会社
イオンディライト株式会社
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社
ジャパニエレクターサービスホールディングス株式会社
トランスコスモス株式会社
プライムエンジニアリング株式会社
関西電気保安協会
株式会社SCREEN SPEサービス
株式会社SHINKO
株式会社アットキャド
株式会社エイチエスプロモーション
株式会社エスユーエス
株式会社シーアールイー
株式会社ベオスアイティーホールディングス
株式会社ホンダテクノフォート
株式会社マクスエンジニアリング
株式会社関西シー・アイ・シー
株式会社島津アクセス
株式会社日立パワーソリューションズ
株式会社日立ビルシステム
関電ファシリティーズ株式会社
京阪ビルテクノサービス株式会社
近鉄ファシリティーズ株式会社
三島光産株式会社
三菱電機システムサービス株式会社
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
三陽工業株式会社
西日本高速道路ファシリティーズ株式会社
総合警備保障株式会社
大王電機株式会社
東洋テック株式会社
東洋ビルメンテナンス株式会社
独立行政法人水資源機構

日本空調サービス株式会社
情報通信工学部
(輸送用機械器具製造業)
明石機械工業株式会社
ダイハツ工業株式会社
(物品賃貸業)
西尾レントオール株式会社
(不動産取引・賃貸・管理業)
阪急阪神ビルマネジメント株式会社
株式会社東急コミュニティー
株式会社プレサンスコーポレーション
(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
コーデンシ株式会社
アルプスアルパイン株式会社
RITAエレクトロニクス株式会社
(電気・情報通信機械器具製造業)
理化工業株式会社
日信特器株式会社
内外電機株式会社
星和電機株式会社
新コスモス電機株式会社
住友電装株式会社
寺崎電気産業株式会社
三菱電機株式会社
関西電力送配電株式会社
株式会社ニューリー・土山
株式会社one A
システムギア株式会社
エムテック株式会社
アイコム株式会社
(電気・ガス・熱供給・水道業)
アイテック株式会社
(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
株式会社友電舎
株式会社三ツ星
株式会社ノーリツ
(地方公務)
大阪府警察本部
滋賀県警察本部
(食品・飲料・たばこ・飼料製造業)
キンキサイン株式会社
(情報通信業)
北港情報サービス株式会社
富士ソフト株式会社
日本ソフトウェア株式会社
日本システム開発株式会社
日本システムワープ株式会社
日本アクティ・システムズ株式会社
東芝情報システム株式会社
中央コンピューター株式会社
昭和コンピュータ株式会社
住友電工システムソリューション株式会社
三菱電機ソフトウェア株式会社
京都電子計算株式会社
関西総合システム株式会社
株式会社日本ビジネス開発
株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター
株式会社日新システムズ
株式会社電算情報技研

株式会社第一コンピュータリソース
株式会社大和コンピューター
株式会社大阪エヌデーエス
株式会社阪栄マネージメント
株式会社ランドコンピュータ
株式会社ラクス
株式会社ライトコード
株式会社ユー・エス・イー
株式会社ミライト・ワン・システムズ
株式会社ミック
株式会社マーブル
株式会社ベルチャイルド
株式会社プロアシスト
株式会社ネオジャパン
株式会社ネオ
株式会社テブコシステムズ
株式会社ディ・アイ・システム
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社スタイル・フリー
株式会社システムリサーチ
株式会社システムディ
株式会社システムコーディネイト
株式会社システナ
株式会社シービジョン
株式会社シーズ
株式会社シーエーシー
株式会社シー・エス・イー
株式会社サイバーリンクス
株式会社コンピューターエンゼルス
株式会社コア
株式会社ケーケーシー情報システム
株式会社ケー・エス・ディー
株式会社クロスユーアイエス
株式会社キューブシステム
株式会社オプテージ
株式会社オービーシステム
株式会社エヌエスピージャパン
株式会社エクストリンク
株式会社エイコーシステムクリエイツ
株式会社ウェブストリーム
株式会社インフラトップ
株式会社いい生活
株式会社アルメディア・ネットワーク
株式会社アップロード
株式会社SIG
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTデータSBC
株式会社NTTデータNJK
株式会社NSD
株式会社KSK
株式会社KSC
株式会社DTS WEST
株式会社DTS
株式会社C I Jネクスト
旭情報サービス株式会社
ユーザー株式会社
ヤマトシステム開発株式会社
ミネバソフトウェアソリューションズ株式会社
パーソルAVCテクノロジー株式会社
ニュートラル株式会社

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
データプロセス株式会社
センコー情報システム株式会社
セブンシステム株式会社
システムテクニカルサービス株式会社
システムズ・デザイン株式会社
サービス&セキュリティ株式会社
コムシス株式会社
カコムス株式会社
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
ウェブシステムテクノロジー株式会社
インター・ラボ株式会社
イ・ソフト株式会社
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
TISソリューションリンク株式会社
TISシステムサービス株式会社
Sky株式会社
SGシステム株式会社
OKIクロステック株式会社
NSW株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NCS&A株式会社
MKIテクノロジーズ株式会社
JCOM株式会社
AJS株式会社
(小売業)
兵庫スバル自動車株式会社
株式会社万代
株式会社プレジィール
株式会社GLIT
コーナン商事株式会社
(宿泊業、飲食サービス業)
日本マクドナルド株式会社
大起水産株式会社
株式会社はま寿司
(社会保険・社会福祉・介護事業)
株式会社ベストライフ
(建設業)
日本電通株式会社
日本電設工業株式会社
日本コムシス株式会社
日鉄テックスエンジ株式会社
大日通信工業株式会社
浅海電気株式会社
新生テクノス株式会社
三興コントロール株式会社
関電プラント株式会社
関西保温工業株式会社
株式会社阪電工
株式会社ミライト・ワン
株式会社ブートコミュニケーション
ジャトー株式会社
コムシスモバイル株式会社
エクシオグループ株式会社
NECネッツエスアイ株式会社
NDS株式会社
(学校教育)
大阪府教育委員会
神戸市教育委員会
(化学工業、石油・石炭製品製造業)
昌立工業株式会社

三笠産業株式会社
株式会社アプリス
(卸売業)
東テック株式会社
水戸工業株式会社
株式会社デザインアーク
岡谷エレクトロニクス株式会社
ダイワボウ情報システム株式会社
シャープマーケティングジャパン株式会社
アプライド株式会社
(運輸業、郵便業)
大阪モノレール株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
阪神高速パトロール株式会社
TBKエアポートグランドサービス株式会社
NX・NPロジスティクス株式会社
(印刷・同関連業)
株式会社ITP
(医療業、保健衛生)
デンタルサポート株式会社
(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
理想科学工業株式会社
中西金属工業株式会社
株式会社小松製作所
株式会社ノーケン
株式会社ニッケ機械製作所
株式会社タカソノ
ダックエンジニアリング株式会社
スタンダードメタル工業株式会社
SUS株式会社
JFEプラントエンジニア株式会社
(専門・技術サービス業)
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
株式会社ウエディングパーク
株式会社KYOSOテクノロジー
レクストホールディングス株式会社
パーク24株式会社
Link-Uグループ株式会社
LINEヤフー株式会社
(製造業)
フジプレアム株式会社
(サービス業)
富士通ディフェンス&シヨナルセキュリティ株式会社
富士フィルムビジネスソリューションジャパン株式会社
日本ビルコン株式会社
南海ビルサービス株式会社
東洋テック株式会社
東芝テックソリューションサービス株式会社
三菱電機システムサービス株式会社
株式会社日立ビルシステム
株式会社デザインネットワーク
株式会社SHINKO
トランスコスモス株式会社
ディーピーティー株式会社
アライドアーキテクツ株式会社
JBツールシステム株式会社
CTCテクノロジー株式会社

医療健康科学部
(物品賃貸業)
小山株式会社
株式会社トヨタレンタリース大阪
株式会社サニクリーン近畿
奥村機械株式会社
(複合サービス事業)
和歌山県農業協同組合中央会
(不動産取引・賃貸・管理業)
日本土地建物株式会社
株式会社エリッツ
(電気・情報通信機械器具製造業)
進和鉄工株式会社
株式会社one A
(電気・ガス・熱供給・水道業)
大和ガス株式会社
(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
日垂鋼業株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社マスタニテック
開明伸銅株式会社
ダイキン油圧エンジニアリング
SEAVAC株式会社
SANEI株式会社
(地方公務)
東京消防庁
警視庁
京都市交通局
(生活関連サービス業、娯楽業)
株式会社LAVA International
株式会社FEEL CONNECTION
ワタキューセイモア株式会社
(情報通信業)
富士フィルムヘルスケアシステムズ株式会社
日本情報産業株式会社
株式会社日立医業情報ソリューションズ
株式会社システムリサーチ
株式会社エヌアイディ
旭情報サービス株式会社
スカネット株式会社
エイベックスマネジメント株式会社
(小売業)
大阪トヨタNorth株式会社
青山商事株式会社
神戸トヨペット株式会社
株式会社万代
株式会社ヤマダデンキ
株式会社ヤナセ
株式会社ゴルフパートナー
株式会社クスリのアオキ
トヨタモビリティ新大阪株式会社
ダイレックス株式会社
ココロカ株式会社
SUGALABO V
(宿泊業、飲食サービス業)
オリックス・ホテルマネジメント株式会社
(社会保険・社会福祉・介護事業)
豊中千寿園
日の出医療福祉グループ

社会福祉法人淳風会
特別養護老人ホーム寿光園
社会福祉法人慶生会
社会福祉法人玉美福祉会
株式会社ナイン
IKOI GROUP
(その他)
株式会社石川ミリオンスターズ
(建設業)
有限会社大匠
東洋技研株式会社
大林道路株式会社
浅海電気株式会社
西日本高速道路メンテナンス関西株式会社
株式会社哲建
株式会社朝日工業社
株式会社崇和
株式会社阪電工
株式会社一条工務店
株式会社メディアテックー心
株式会社マツミ
株式会社カシワバラ・コーポレーション
株式会社アイコンホールディングス
株式会社JR西日本テクノス
伊丹産業電設株式会社
ダイダン株式会社
ソーワエンジニアリング株式会社
ケーアンドイー株式会社
(金融業)
日本賃貸保証株式会社
(学校教育)
大東市教育委員会
大阪学院大学高等学校
洛陽総合高等学校
京都芸術高等学校
羽曳野市立古市南小学校
(化学工業、石油・石炭製品製造業)
大同塗料株式会社
ロックベイント株式会社
(卸売業)
富士電機産業株式会社
塚本商事機械株式会社
水戸工業株式会社
新光電気工業株式会社
小西医療器株式会社
若井ホールディングス株式会社
幸南食糧株式会社
宮野医療器株式会社
株式会社良品計画
株式会社立花エレテック
株式会社富士昭サンマテック
株式会社日興商会
株式会社鳥芳
株式会社西村ケミテック
株式会社昭栄
株式会社ロゴスコポレーション
株式会社フィリップス・ジャパン
株式会社ダンロップタイヤ
株式会社スチール
株式会社アダチ
株式会社PRESSING

株式会社PENTAGON
株式会社ACN
稲畑産業株式会社
マツ六株式会社
ディービーエックス株式会社
ソレキア株式会社
サンヨウ株式会社
アプライド株式会社
アークレイ株式会社
(運輸業、郵便業)
西日本旅客鉄道株式会社
阪神高速パトロール株式会社
(印刷・同関連業)
株式会社大和マーク製作所
株式会社ガイドー
(医療業、保健衛生)
洛和会ヘルスケアシステム
福田総合病院
武田病院グループ
大阪赤十字病院
日本ステリ株式会社
国立病院機構 大阪南医療センター
国立病院機構 近畿グループ
奈良県立病院機構
大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
淀川キリスト教病院
大阪府済生会富田林病院
社会医療法人美杉会
社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院
社会医療法人蒼生会 蒼生病院
社会医療法人生長会 ベルビアノ病院
社会医療法人信愛会 交野病院
社会医療法人弘会 わかさ調剤リハビリテーション病院
社会医療法人栄公会 佐野記念病院
社会医療法人愛仁会 井上病院
社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
社会医療法人きつこう会 多根総合病院
社会医療法人ONE FLAG おおさかグローバル整形外科病院
市立奈良病院
三田市民病院
株式会社nobitel Dr. ストレッチ
一般財団法人住友病院
医療法人和合会 和合病院
医療法人藤井会 石切生喜病院
医療法人展生会 こみ整形外科
医療法人堤整形外科
医療法人晴心会 野上病院
医療法人仁真会 白鷺病院
医療法人新生会 高の原中央病院
医療法人春秋会 城山病院
医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院
医療法人社団淀さんぜん会 金井病院
医療法人社団武部整形外科リハビリテーション
医療法人社団千春会 千春会病院
医療法人社団誠仁会 みはま病院
医療法人社団順和会 京都下鴨病院
医療法人社団岡田会 山の辺病院
医療法人社団 好仁会 滝山病院
医療法人慈恵会 西田病院
医療法人弘和会 いわさきクリニック
医療法人啓信会 大阪整形外科病院

医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院
医療法人暁美会 田中病院
医療法人協和会 協和会病院
医療法人協和会 協和マリナホスピタル
医療法人京優会 谷川記念病院
医療法人橘会 東住吉森本病院
医療法人回生会
医療法人一祐会 藤本病院
医療法人医誠会 摂津医誠会病院
医療法人医誠会 医誠会国際総合病院
医療法人仁心会 武田総合病院
医療法人とよかわ整形外科リハビリクリニック
医療法人たちいり整形外科医院
医療法人いひか 大阪たつみリハビリテーション病院 (はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
日本光電工業株式会社
泉工医科工業株式会社
株式会社湯山製作所
株式会社松井製作所
株式会社ニッシン
株式会社タカトリ
株式会社タカゾノ
旭精工株式会社
ミナト医科学株式会社
スタンダードメタル工業株式会社
グローリー株式会社
オージー技研株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 (専門・技術サービス業)
共同エンジニアリング株式会社
株式会社カクヤスグループ
シッパルズケアリサーチ&コンサルティング株式会社 (製造業)
山本光学株式会社
株式会社繁原製作所
株式会社河合楽器製作所
株式会社メニコン
マルウ接着株式会社 (教育、学習支援業)
幼児活動研究会株式会社
木幸スポーツ企画株式会社
株式会社バンタン (サービス業)
富士フィルムメディカルサービスソリューション株式会社
東ソー・テクノシステム株式会社
島津メディカルシステムズ株式会社
三泰工業株式会社
株式会社島津アクセス
株式会社ジェイエムエンジニアリング
株式会社SHINKO
ALSOK大阪株式会社
総合情報学部
(保険業)
大同生命保険株式会社
(物品賃貸業)
株式会社アクティオ
株式会社教映社
西尾レントオール株式会社 (不動産取引・賃貸・管理業)

株式会社サニーライフ
株式会社共立メンテナンス (農業、林業)
有限会社吉野ジーピーファーム (電子部品・デバイス・電子回路製造業)
ニチコン株式会社
八光電子工業株式会社
利昌工業株式会社 (電気・情報通信機械器具製造業)
サイレックス・テクノロジー株式会社
システムギア株式会社
株式会社J E I
株式会社デンソーテン
株式会社マウスコンピューター
株式会社片岡製作所
関西電力送配電株式会社 (電気・ガス・熱供給・水道業)
アイテック株式会社
株式会社赤路電気水道 (鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
ヤマコー株式会社
株式会社コダマ
株式会社プロテック
株式会社坂井田製作所
株式会社神戸製鋼所
古河A S株式会社 (生活関連サービス業、娯楽業)
Happy Elements株式会社
株式会社アサヒディード
八城観光開発株式会社 (情報通信業)
株式会社ロジスティックス
CLINKS株式会社
D I C O株式会社
Gateテクノロジーズ株式会社
NCS&A株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NSW株式会社
SETソフトウェア株式会社
Sky株式会社
T & D情報システム株式会社
T I Sシステムサービス株式会社
TIYONI株式会社
アイネット・システムズ株式会社
アバンテック株式会社
アビームシステムズ株式会社
アルファテック・ソリューションズ株式会社
イトレックトライズ株式会社
インター・ラボ株式会社
エクセルコンピュータサービス株式会社
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
エフビットコミュニケーションズ株式会社
カコムス株式会社
サービス&セキュリティ株式会社
さくら情報システム株式会社
システム・エポリューション株式会社
システムテクニカルサービス株式会社
シスメックスCNA株式会社
スカネット株式会社
スキルシステムズ株式会社
ソフトキューブ株式会社

ソフトバンク株式会社
ソラド株式会社
チームラボ株式会社
ナビオコンピュータ株式会社
フルタ二産業株式会社
ポスタス株式会社
ポノス株式会社
ユニバーサルコンピューター株式会社
ラウンドテーブル合同会社
ワールドビジネスセンター株式会社
旭情報サービス株式会社
伊賀上野ケーブルテレビ株式会社
株式会社A T G S
株式会社B e e
株式会社C I Jネクスト
株式会社D・A・G
株式会社D T S
株式会社D T S W E S T
株式会社E M D
株式会社f 4 s a m u r a i
株式会社I E M
株式会社J & C S O L U T I O N
株式会社LogTech
株式会社M I T
株式会社Mountain Gorilla
株式会社N I D・M I
株式会社N S D
株式会社NTTデータ・ニューソン
株式会社NTTデータMSE
株式会社NTTデータN J K
株式会社N V C
株式会社OK Iソフトウェア
株式会社Redefine Arts
株式会社SAFEHOUSE
株式会社S A L T O
株式会社S I G
株式会社TREE Digital Studio
株式会社Works Human Intelligence
株式会社アイヴィス
株式会社アイル
株式会社アクシアソフトデザイン
株式会社アクシスアソシエイツ
株式会社アストロステージ
株式会社アルク
株式会社イードクトル
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社インディーズゼロ
株式会社ウィットスタジオ
株式会社エイチ・アイ・ティ
株式会社エクスプレス
株式会社エクセル・クリエイツ
株式会社エスエフシー新潟
株式会社エヌアイデイ
株式会社エフ・エム
株式会社エフエスティ
株式会社エム企画
株式会社オーアイエスコム
株式会社オーシーシー情報センター
株式会社オービーシステム
株式会社オニオン
株式会社カブコン

株式会社キューブシステム
株式会社クリエイターズボックス
株式会社クレオ
株式会社ケー・エス・ディー
株式会社コア
株式会社ココト
株式会社コンサルリンク
株式会社シー・エス・イー
株式会社シーイーシー
株式会社ジェー・シー・スタッフ
株式会社システナ
株式会社システムリサーチ
株式会社ジャステック
株式会社シンクロジック
株式会社ステップワン
株式会社ストーム
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社チロロネット
株式会社ディ・アイ・システム
株式会社ディー・オー・エス
株式会社ティーエーシーホールディングス
株式会社ティエム2
株式会社テクノデジタル
株式会社テラスカイ
株式会社テレビ岸和田
株式会社ドリームキャリア
株式会社ニッセイコム
株式会社ネオ
株式会社パスカル
株式会社ハマーテレビジョン
株式会社ビー・アイ・スクエア
株式会社ビー・ソフトハウス
株式会社ビットグループ
株式会社ファーストトーン
株式会社フィットワークス
株式会社フォルテ
株式会社ブレインアソシエイツ
株式会社ブレーンズ
株式会社プロアシスト
株式会社マープル
株式会社メガ・テクノロジー
株式会社ユニスティ
株式会社ラディアント・ソリューションズ
株式会社関西東通
株式会社関西電システムズ
株式会社栗菱コンピューターズ
株式会社経営情報センター
株式会社新日本ニーズ
株式会社電算情報技研
株式会社東京サウンド・プロダクション
株式会社日新システムズ
株式会社日本テクノス
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
株式会社日立産業制御ソリューションズ
株式会社菱友システムズ
株式会社菱友システム技術
共同コンピュータ株式会社
近鉄ケーブルネットワーク株式会社
三菱電機ソフトウェア株式会社
神戸アドテック株式会社

大京システム開発株式会社
第一生命テクノクロス株式会社
日本コンピューターサイエンス株式会社
日本システムデザイン株式会社
日本システムワープ株式会社
日本テクノストラクチャ株式会社
日本マイクロシステムズ株式会社
日本事務器株式会社
日本情報産業株式会社
富士ソフト株式会社
富士通株式会社 (小売業)
DAIWA CYCLE株式会社
アークランズ株式会社
ダイレックス株式会社
トヨタユニテッド奈良株式会社
株式会社アベックス
株式会社エディオン
株式会社カインズ
株式会社クスリのアオキ
株式会社スーパーサンエー
株式会社ティーツー
株式会社ドン・キホーテ
株式会社ナップス
株式会社ニッコー
株式会社ネクステージ
株式会社ノジマ
株式会社ビックカメラ
株式会社フェイスグループ
株式会社フジデン
株式会社ヤマダデンキ
株式会社ヤマダホールディングス
株式会社ヨドバシカメラ
株式会社ライフコーポレーション
株式会社レッドバロン
株式会社関西スーパーマーケット
株式会社八尾源
株式会社菱和テレコム
株式会社平和堂
株式会社万代
協和商事株式会社
西菱電機株式会社 (宿泊業、飲食サービス業)
アパホテル株式会社
カッパ・クワイエットホールディングス株式会社
こころざ志グループ
ホテルニューアワジグループ
リゾートトラスト株式会社
株式会社どうとんぼり神座
株式会社トマトアンドアソシエイツ
株式会社はま寿司
株式会社ブロンコビリー (社会保険・社会福祉・介護事業)
SOMPOケア株式会社
一般社団法人なかの屋釣鐘町
株式会社セルヴィス
株式会社ニチケアパレス
社会福祉法人京都市社会福祉協議会 (国家公務)
防衛省 陸上自衛隊 (建設業)

I H A R A FURNACE株式会社
J R西日本電気システム株式会社
アイ電気通信株式会社
旭電業株式会社
株式会社アイチケン
株式会社オンテックス
泉鋼管工事株式会社
大勝建設株式会社
大成建設株式会社
日鉄テックスエンジ株式会社
日爐工業株式会社
有限会社ニシムラサービス (金融業)
DAIWA CYCLE株式会社
アビリオ債権回収株式会社
近畿産業信用組合
姫路信用金庫 (化学工業、石油・石炭製品製造業)
バンドー化学株式会社
日垂化学工業株式会社 (卸売業)
アプライド株式会社
エンゼルグループ株式会社
エンド商事株式会社
ジェイズ・コミュニケーション株式会社
ジョー・プリンス竹下株式会社
ムラカワ株式会社
株式会社I D O M
株式会社サニックス
株式会社シェル石油大阪発売所
株式会社シブタニ
株式会社立花エレテック
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
三友株式会社
山喜株式会社
水戸工業株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
朝日電器株式会社
福西電機株式会社
宝永電機株式会社 (運輸業、郵便業)
フジカ株式会社
株式会社コープムービング
株式会社つばめ急便
株式会社ランテック
株式会社ロジコム
株式会社引越社
西日本高速道路パトロール関西株式会社
泉洋港運株式会社
淡路共正陸運株式会社 (印刷・同関連業)
ダイコロ株式会社
フタバフォーム印刷株式会社
株式会社T L P
株式会社グラフィック
株式会社ジェイ・エム
株式会社ダイドー
株式会社明新社
山野印刷株式会社
大阪シーリング印刷株式会社
福島印刷株式会社 (食料品・飲料・たばこ・飼料製造業)

株式会社中島大祥堂 (医療業、保健衛生)
医療法人協仁会 小松病院
医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 (はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
N K E株式会社
オクラ工業株式会社
ハシダ技研工業株式会社
フクシマガリレイ株式会社
ヤマトマシン製造株式会社
株式会社フジキン
株式会社湯山製作所
株式会社三川工業製作所
株式会社堀内機械
杭州晨泓医療設備有限公司
桃栄金属工業株式会社
株式会社島精機製作所 (専門・技術サービス業)
ARアドバンステクノロジ株式会社
L i n k - Uグループ株式会社
S O L I Z E株式会社
株式会社H I T
株式会社STUDIO ARC
株式会社U-NEXT HOLDINGS
株式会社ガネット
株式会社きんそく家屋調査
株式会社クロスフィールド
株式会社ゲオホールディングス
株式会社ベリサーブ
株式会社第一システムエンジニアリング (その他の製造業)
エンゼルランプ株式会社 (製造業)
エンゼルプレイングカード製造京都株式会社
ナカバヤシ株式会社
株式会社トップ精工
株式会社呉竹
株式会社和気 (教育、学習支援業)
有限会社ホルムス 松塾
浙江朗閣国際教育センター (サービス業)
FLB ONE
NGM株式会社
SocioFuture株式会社
カイロプラクティックひかり
ジャパニアス株式会社
ジャパエレベーターサービスホールディングス株式会社
トランスコスモス株式会社
ニッコーテクノ株式会社
ハチイチドローン株式会社
プログレス・テクノロジーズ株式会社
株式会社Bay bridge
株式会社FUKUMIMI
株式会社SHINKO
株式会社グッド・クルー
株式会社シムックス
株式会社テックビルケア
株式会社マーキュリー
株式会社ユニティー
高速道路トールテクノロジー株式会社

阪神輸送機株式会社
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
2025年3月30日現在



資格学習支援センター

大阪電気通信大学の皆様の資格取得を全面サポートします！

大学在学中に資格を取得することは

- 就職活動でアピールができる
 - 成功体験が自信や成長につながる
 - 将来のキャリアアップにつながる など
- メリットがたくさんあります！

2025年目玉講座！

たった**3**日間で**3**資格に合格できる！

1日完結！MOS365 集中講座

合格率はなんと、約98%

各回40名定員

学内対面講座

科目	夏休み日程	講義時間	試験時間
MOS Word	【寝屋川】 7/29(火) 【四條畷】 9/ 9(火)	9:00~16:30	16:30~18:00
MOS Excel®	【寝屋川】 7/30(水) 【四條畷】 9/10(水)	9:00~16:30	16:30~18:00
MOS PowerPoint®	【寝屋川】 7/31(木) 【四條畷】 9/11(木)	9:00~16:30	16:30~18:00

MOS Associateコース
お得な3講座セット割引コース
Word, Excel®, PowerPoint®

3講座まとめて受講すると10,000円割引
通常価格 75,000円 ▶ **65,000円**

【価格】
受講料+教材費+受験料
1科目あたり 25,000円

★5ヵ月で3つの国家資格取得を目指したい方はこちらへ

情報系国家資格をまとめて取得するならセット受講が断然お得！

情報処理③資格 最短合格コース

ITパスポート試験講座・情報セキュリティマネジメント試験講座
基本情報技術者試験講座が含まれています。

受講料 125,500円
受験料 22,500円
支払金額 148,000円

★2つの国家資格取得を目指したい方はこちらへ

情報処理②資格 ステップアップコース

情報セキュリティマネジメント試験講座・基本情報技術者試験講座が含まれています。支払金額 98,000円

受講料 83,000円
受験料 15,000円
支払金額 98,000円

大阪電気通信大学後援会会員限定

IT系国家資格 受験料支援制度

2025年度より、学部・学科を問わず、後援会会員を対象とする事業として、
下記のIT系国家資格合格者の受験料相当分(7,500円)が支援される予定です。

★ITパスポート試験 ★基本情報技術者試験 ★応用情報技術者試験
※申請要領等の詳細は、決まり次第お知らせします。

2025年度 夏期募集資格講座

申込期間
6/12~6/26

国家資格	ITパスポート試験講座	49,500円 7,500円 57,000円	12月	★★☆☆☆ 1~2年 72時間	寝屋川 四條畷【注】
国家資格	情報処理3資格最短合格コース ①ITパスポート試験講座②情報セキュリティマネジメント試験講座 ③基本情報技術者試験講座	125,500円 22,500円 148,000円	①12月 ②2月 ③3月	★★★☆☆ 1~3年 228時間	寝屋川
国家資格	情報処理2資格ステップアップコース ①情報セキュリティマネジメント試験講座②基本情報技術者試験講座	83,000円 15,000円 98,000円	①8月 ②9月	★★★☆☆ 1~3年 152時間	寝屋川
国家資格	ITパスポート試験 直前対策講座	10,000円 7,500円 17,500円	8月	★★☆☆☆ 1~3年 15時間	寝屋川
	統計検定2級講座	34,100円 個人申込 34,100円	9月	★★☆☆☆ 1~3年 31.5時間	寝屋川
NEW	1日完結！MOS Word365講座	25,000円 受講料を含む 25,000円	7月 9月	★★☆☆☆ 1~3年 8時間	寝屋川 四條畷
NEW	1日完結！MOS Excel®365講座	25,000円 受講料を含む 25,000円	7月 9月	★★☆☆☆ 1~3年 8時間	寝屋川 四條畷
NEW	1日完結！MOS PowerPoint®365講座	25,000円 受講料を含む 25,000円	7月 9月	★★☆☆☆ 1~3年 8時間	寝屋川 四條畷
NEW	3日完結！MOS Associateコース (Word+Excel®+PowerPoint®)	65,000円 受講料を含む 65,000円	7月 9月	★★★☆☆ 1~3年 24時間	寝屋川 四條畷
	MOS Word365ステップアップ講座<一般→上級レベル>	25,300円 9,680円 34,980円	8月	★★☆☆☆ 1~3年 30時間	寝屋川
	MOS Excel®365ステップアップ講座<一般→上級レベル>	25,300円 9,680円 34,980円	9月	★★☆☆☆ 1~3年 30時間	寝屋川
	MOS Expert講座(Wordエキスパート+Excel®エキスパート)	30,800円 19,360円 50,160円	8-9月	★★★☆☆ 1~3年 40時間	寝屋川
	2次元CAD利用技術者試験2級講座<基礎コースのみ>	4,070円 6,050円 10,120円	9月	★★★☆☆ 2~3年 21時間	寝屋川
	2次元CAD利用技術者試験2級講座<基礎+試験対策コース>	17,170円 6,050円 23,220円	9月	★★★☆☆ 2~3年 39時間	寝屋川
国家資格	危険物取扱者試験(乙種第4類)講座	15,000円 5,300円 20,300円	9月	★★☆☆☆ 1~3年 13.5時間	寝屋川
	ドローン検定講座(3級講座+基礎技能講習)	99,000円 受講料を含む 99,000円	9月	★★☆☆☆ 1~4年 16時間	寝屋川
	【就活準備講座】SPI+CAB対策講座	3,300円	試験なし	★★☆☆☆ 2~3年 15時間	寝屋川
NEW	日商簿記3級対策講座	20,000円 個人申込 20,000円	11月	★★☆☆☆ 1~3年 55時間	WEB (動画+授業)
NEW	TOEIC®L&R 500点~800点目標講座 <視聴期間6か月コース>	15,000円 4,230円 19,230円	12月	★★★☆☆ 1~4年 -	WEB

【注】四條畷キャンパス生は、寝屋川での対面授業+zoomでの受講となります



講座のスケジュール、申し込み、最新情報などは、資格学習支援センターのホームページでご確認いただけます。左のQRコードを読み取ってご覧ください。

各種奨学金について

奨学金は、人物・学業成績が優秀でありながら、経済的な理由によって修学が困難な学生に対して、一定の金額を「貸与」又は「給付」する制度です。

大学で取り扱っている各種奨学金の募集については、大学のホームページ、My Portal、学内メール(oecuメール)、WEB 掲示板等でお知らせします。

奨学金は、申し込みから採用・継続・各種変更等の手続きまで、すべて学生本人に行なっていただきます。奨学金に関する日程・手続については、各自で確認されますよう、保護者の皆様からご指導ください。

また、各種奨学金制度には、家計の急変（主たる家計支持者が死亡、失業又は被災等）により学業の継続が困難となった場合に、申請を随時受け付けるものがあります。

奨学金に関するお問い合わせは、各窓口（寝屋川キャンパス⇒寝屋川学務課奨学金窓口、四條畷キャンパス⇒四條畷学務課奨学金窓口）までお気軽にご相談ください。

奨学金制度一覧（2025年3月7日現在）

[大学院]

奨学金名称	種別	金額	利子の有無	貸与（給付）期間	備考
日本学生支援機構 第一種奨学金	貸与	月額 博士前期課程：50,000円又は88,000円 のいずれかを選択 博士後期課程：80,000円又は122,000円 のいずれかを選択	無利子	採用年度から最短修業年限（継続審査あり）	申込時期 4月・9月 家計急変の場合には、随時申込可能（ただし、事由発生後12ヶ月以内に申込手続きが完了していること）
日本学生支援機構 第二種奨学金	貸与	月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択	有利子（貸与終了後年利上限3%の利息）		
大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金	貸与	学費相当額	無利子	原則1回	家計急変の場合
大阪電気通信大学教育ローン利子補給奨学金	給付	当該年度に支払った学費ローンにかかる利子相当額	—	最短修業年限	申込時期 2月初旬 大学指定の教育ローンを利用し学費を納入した学生 所得制限あり
大阪電気通信大学大学院博士前期課程特待生制度	給付	年額 350,000円(A奨学金)、200,000円(B奨学金)、 160,000円(C奨学金)、80,000円(D奨学金)、 96,000円(E奨学金)、320,000円(F奨学金)、 480,000円(G奨学金)、192,000円(H奨学金)	—	上限2年間（1年ごとに申請・選考あり）	申込時期 4月上旬 種類・金額についてはコース又は専攻により設定
大阪電気通信大学大学院博士後期課程特待生制度	給付	500,000円	—	上限3年間（1年ごとに申請・選考あり）	申込時期4月上旬（秋季入学者は1月） 後期学費から減免する
民間・地方公共団体の奨学金	給付 貸与	各種民間団体等による	—	各種民間団体等による	申込時期・条件等は各団体による （大学を通さず、本人が応募するものもあり）

[学部学生]

奨学金名称	種別	金額	利子の有無	貸与（給付）期間	備考
日本学生支援機構 給付奨学金	給付	自宅通学生：第Ⅰ区分 38,300円 第Ⅱ区分 25,600円 第Ⅲ区分 12,800円 第Ⅳ区分（多子世帯） 9,600円 自宅外通学生：第Ⅰ区分 75,800円 第Ⅱ区分 50,600円 第Ⅲ区分 25,300円 第Ⅳ区分（多子世帯） 19,000円	—	採用年度から最短修業年限（継続審査あり）	申込時期 4月・9月 給付奨学金受給対象者は授業料減免対象者となる 家計急変の場合には、随時申込可能（ただし、事由発生後3ヶ月以内に申込手続きが完了していること）
日本学生支援機構 第一種奨学金	貸与	自宅通学生：20,000円・30,000円 40,000円・54,000円※ 自宅外通学生：20,000円・30,000円 40,000円・50,000円・64,000円※ より選択できます ※規定あり	無利子	採用年度から最短修業年限（継続審査あり）	申込時期 4月・9月 家計急変の場合には、随時申込可能（ただし、事由発生後12ヶ月以内に申込手続きが完了していること）
日本学生支援機構 第二種奨学金	貸与	月額 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、100,000円、110,000円、120,000円から選択	有利子（貸与終了後年利上限3%の利息）		
大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金	貸与	半期学費相当額	無利子	原則1回	家計急変の場合
大阪電気通信大学友電会給付奨学金	給付	月額 30,000円（年額 360,000円）	—	1年間（在学中に1回のみ）	課外活動の成果と学業成績で選考
大阪電気通信大学特別奨学金	給付	入学金相当額	—	入学時	入学手続時点において、既に本学に在籍する親族又は卒業した者の親族（2親等以内）
大阪電気通信大学教育ローン利子補給奨学金	給付	当該年度に支払った学費ローンにかかる利子相当額	—	最短修業年限	大学指定の教育ローンを利用し学費を納入した学生 所得制限あり
民間・地方公共団体の奨学金	給付 貸与	各種民間団体等による	—	各種民間団体等による	申込時期・条件等は各団体による （大学を通さず、本人が応募するものもあり）

オリコ学費サポートプラン

「学費サポートプラン」は入学金や授業料などの学納金を簡単なお申込み手続きでご利用いただける学校提携の学費の立替払い制度です。
※また各種奨学金をご利用の方もご利用いただけます。

インターネットで
24時間
365日

スピーディーな
審査
お申込みの翌営業日に
審査結果のご連絡

来店不要
WEB上でお申込みが完了
申込書の郵送が不要

「学費サポートプラン」
のご案内(動画)



学費サポートプラン概要

対象費用	入学金・授業料・実験実習費等の学費	申込者	保護者等 ※保証人は原則不要	申込要件	安定した収入のある方
申込期間	納入時に合せ都度お申込み (審査最速1日)	申込方法	インターネットからお申込み (来店不要)	申込上限金額	500万円
分割払手数料	実質年率3.0% (固定)	学納金の振込	学校指定口座へ立替	必要書類	・学生証(合格証)など証明書 ・納付額の記載書類など

※本学では学生支援の一環として利子補給奨学制度を導入しております。詳細は学務課(072-813-7860)までお問い合わせください

お支払いパターン

お支払い方法は、以下の2つのお支払いパターンからお申込みができます。

通常払い

在学中から分割支払額をお支払いいただくプランです。ご利用金額の50%以内で、ボーナス月に増額して納入することもできます。

ステップアップ払い

在学中は分割払手数料のみのお支払いで、卒業後は通常払いにてお支払いいただくプランです。



返済テーブル表

ご利用合計金額(残高)における月々の最低分割支払額となります。

ご利用合計金額	最低分割支払額	ご利用合計金額	最低分割支払額
10万円以上 ~ 50万円以下	6,000円	250万円超 ~ 300万円以下	36,000円
50万円超 ~ 100万円以下	12,000円	300万円超 ~ 350万円以下	42,000円
100万円超 ~ 150万円以下	18,000円	350万円超 ~ 400万円以下	48,000円
150万円超 ~ 200万円以下	24,000円	400万円超 ~ 450万円以下	54,000円
200万円超 ~ 250万円以下	30,000円	450万円超 ~ 500万円以下	60,000円

お支払い例

ご利用例	ご利用金額: 800,000円 在学期間: 3年					※実質年率3.0%の場合。	
お支払いプラン	在学中		卒業後		最終月 分割支払額	支払総額	総支払回数(期間)
	分割支払額	回数(期間)	分割支払額	回数(期間)			
通常払い	12,000円/	73回(ヶ月)			198円	876,198円	74回(ヶ月)
ステップアップ払い	2,000円/	36回(ヶ月)	12,000円/	73回(ヶ月)	198円	948,198円	110回(ヶ月)

下記ホームページからお申込みください。スマートフォンでもスムーズにお申込みいただけます。

<https://www.osakac.ac.jp/>

※大阪電気通信大学ホーム>キャンパスライフ>奨学金制度等について>奨学金・教育ローン
>大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」

株式会社オリコエデュケーション 学費サポートデスク ☎ 0120-517-325 (お問合せ時間: 9:30~17:30)
(当社は電話リレーサービスに対応しています。)



教育資金を必要とされる皆さまへ「国の教育ローン」をご存じですか？

制度創設以来、40年以上の歴史を持つ公的な融資制度です。

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。

融資限度額 >> お子さま1人につき / 上限 **350万円** / 一定の要件に該当する場合 / 上限 **450万円**



インターネットなら
24時間365日受付中!
スマホ・タブレットでも
お申込み可能です!



「国の教育ローン」3つのポイント

- 固定金利**
年2.65%
令和7年1月6日現在
最長18年の
長期返済
 - ご家庭の状況**
に応じた
優遇制度
 - (公財)教育資金**
融資保証基金
による保証
- お借入時の金利が完済まで変わらない固定金利を採用し、返済期間は、最長18年までと長期です。
 - 特に教育費負担が大きいご家庭を支援するため、金利の低減、(公財)教育資金融資保証基金の保証料の低減といった優遇制度があります。
 - 「国の教育ローン」では、(公財)教育資金融資保証基金^(※)による保証をご利用いただけます。
(※)「国の教育ローン」の融資を受ける際に保証を行うことを目的に設立された公益財団法人で、融資額や返済期間に応じた保証料をご融資金から一括して差し引かせていただきます。

ご利用いただける方

融資対象となる学校に入学・在学される方の保護者(主に生計を維持されている方)で、世帯年収(世帯所得)が次に該当する方

お子さまの人数	1人	2人	3人	4人以上
世帯年収(世帯所得)	790万円以内 (600万円以内)	890万円以内 (690万円以内)	990万円以内 (790万円以内)	コールセンターにお問い合わせください。
	※990万円(790万円)まで緩和される要件がございます。コールセンターにお問い合わせください。			

ご返済額の目安 (年2.65%、令和7年1月6日現在)

融資額	返済期間	毎月の返済額	利息のみ返済中の毎月の返済額
100万円	10年(119回払)	9,600円	2,300円

※ご契約時の金利が完済まで適用される固定金利です。

※上表のご返済額には、保証料は含まれておりません。

※上表のご返済額等はあくまでも目安であり、実際にご利用いただく際は、お借入金額、ご返済期間、金利等の条件により、異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。



教育ローンコールセンター

0570-008656 または 03-5321-8656

受付時間 月~金 9:00~19:00 (土日祝日、年末年始を除く)

2025年度 教育懇談会のお知らせ

本学では学業成績や履修・出席状況等をお伝えし、保護者のみなさまのご質問・ご相談に教員がお答えする教育懇談会を実施しています。詳細につきましては、日程が近づきましたら大学より対象のみなさまへ直接郵送にてご案内があります。ぜひご参加ください。

なお、前期はすべての学生、後期は修得した単位数が学科が指定する単位数に至らなかった学生が対象です。

教育懇談会は、事前予約制の時間指定で実施されます。当日受付は出来ませんので、必ず案内される指定期間内にご予約ください。



2025年度開催スケジュール

前期	2025年9月13日(土)	10時~16時	◆個人面談 (1組あたり20分、予約制)
後期	2026年3月7日(土)		◆学生生活・就職相談コーナー (希望者のみ、予約不要)

会場

寝屋川キャンパス	工学部、情報通信工学部、建築・デザイン学部の学生
四條畷キャンパス	医療健康科学部、総合情報学部、健康情報学部の学生

ご入学 おめでとうございます

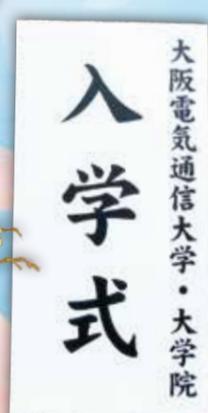
4月2日(水)、寝屋川市立市民会館で2025年度入学式が挙行されました。

学部ごと3部に分かれて式典を執り行いました。

式典では、塩田邦成学長と大石利光理事長よりお祝いの言葉をいただきました。

式典後、寝屋川キャンパスに移動し、新入生は教室で学生証や書類の交付、保護者の方には学科・専攻別教育懇談会を行いました。

J号館前では、ユニフォーム姿の学生によるクラブやサークルの勧誘で賑わっていました。



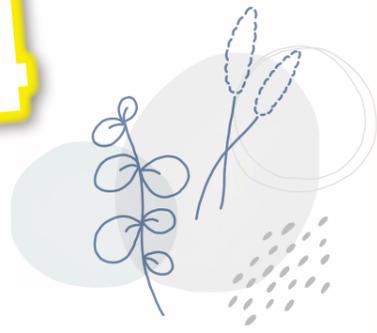
なわフェス'24

2024.11.3 (san)
in 四條畷キャンパス

文 四條畷キャンパスイベント運営委員会
第16期 委員長 福原 大誠

第16期四條畷キャンパスイベント運営委員会は、2024年11月3日に「なわフェス'24」を開催いたしました。本年度のテーマは「つながる」です。地域の皆様との交流を深め、本学と地域社会を結ぶイベントを目指しました。

今年度のなわフェスでは、昨年度から引き続き実施したイルミネーション、謎解き脱出ゲーム、出展展示、クイズラリーなど、多くの来場者に親しまれた企画を充実させました。さらに今年度は新たな取り組みとして、「わくわくランド」「覗エキスポ」を実施。本学の学生団体や地域の団体と連携し、幅広いジャンルの展示や体験型ワークショップを通じて、地域とのつながりを深めました。また、「コナミホール企画」では、特別



ゲストを招いた講演や演奏、パフォーマンスイベントを開催し、来場者にとって新たな感動を提供する場を作り上げました。当日は600人を超える来場者があり、地域住民の皆様をはじめ、学生や教職員の方々にも多数ご参加いただきました。特に、わくわくランド企画では、前年度よりも大幅に子供連れのご家族が増え、様々な子供向けの企画で楽しんでいただけたと思います。

コナミホール企画では、ホームカミングデーの同時開催ということもあり、ご高齢の方々に多く参加していただき、参加者同士の交流が深まる様子が見られました。

今年度の運営委員会は50名体制となり、役員一人ひとりが役割を果たしながらイベントの準備・運営に取り組みました。新企画の実施や地域との連携を意識した取り組みを通じ、多くの学びと成長を得ることができました。

今回のなわフェス'24は、多くの地域団体や学内外の関係者の皆様のご支援のおかげで成功を収めることができました。ご協力いただきました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

現在、第17期四條畷キャンパスイベント運営委員会が「なわフェス'25」に向けた企画を進めております。今年のテーマ「つながる」で得た経験を活かし、より一層地域と結びついたイベントを目指してまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。



2024年度なわフェス 後援会模擬店 (11/3)

後援会コーナーでは、わなげ・まとあて・コースターづくり等を用意して親子連れで楽しんでいただきました。



2024年度なわフェスアンケート結果 <回答:50名>

1. 後援会コーナーを何で知りましたか

ア Web	2
イパンフレット	11
ウ 呼び込み	10
エ その他	3

2. 後援会コーナーについてどうでしたか

ア 楽しかった	22
イ 普通	2
ウ つまらない	0
エ その他	0

3. 年代についてお聞かせください ※複数回答あり

ア 未就学児	9
イ 小学校低学年	11
ウ 小学校高学年	8
エ その他	4

感想

- ありがとうございます
- 小さい子供でしたが、できるまで何度もフォローしていただいたりしたのでありがたかったです
- 子供も楽しめて良かった(遊びやすい)
- 前回は楽しませてもらいました! 毎回ありがとうございます

建築学科合同卒業制作展 2024 Untitled

2月3日(月)～10日(月)まで
建築学科合同卒業制作展 2024「Untitled」を開催

工学部建築学科4年生ならびに大学院建築学コース2年生を中心として合同制作展 2024 を寝屋川キャンパスのアトリエで開催

学生たちは、4年間の大学での学びの成果とともに、昨年春から1年間取り組んだ卒業研究論文・卒業設計作品の成果を緊張しながら発表し、2日間にわたる審査会終了後には、これまで励んできた4年生を称え、最優秀賞及び優秀賞などが発表されました。

後援会から副賞として選ばれた
最優秀賞(2作品)・優秀賞(3作品)に
ガラス楯を贈呈いたしました

▼表彰された学生さんは下記の通りです。

- **最優秀賞(論文)** 山下 京夏 (辻研究室)
やじろべえ型免震建物と耐震建物の多様な連結方法によるハイブリット構造システム
- **最優秀賞(設計)** 上川 海人 (北澤研究室)
居場所と化す堤防
ーケショウヤナギの保全・ストラクチャーの融合ー

最優秀賞



学科主任より学位授与式に記念トロフィーを授与される学生達

• **優秀賞(論文)** 川原崎 涼葉 (北尾研究室)
「建築コスト研究年報」を用いた建築積算コストに関する研究の調査

• **優秀賞(論文)** 山條 泰史 (飯島研究室)
木造建築物を対象とした BIM による構造設計図書自動作成システムの開発

• **優秀賞(設計)** 後藤 僚我 (北澤研究室)
流動と選択を保持した住まいーリニア中央新幹線開通に伴う人口分散と脱炭素社会における住宅の変化

優秀賞



矢ヶ崎善太郎学科主任

学科主任より学位授与式に記念トロフィーを授与される学生達

なわてん

後援会から副賞を贈呈

2024年度
総合情報学部
卒業研究・卒業制作展

デジタルゲーム学科 卒業研究・卒業制作展
ゲーム&メディア学科 卒業研究・卒業制作展
情報学科 特別研究展

2025年2月3日(月) - 3月28日(金)

今年で開催22回目を迎える「なわてん」
今年度も昨年に引き続きオンラインでの開催となりました。
2月9日(日)開催された「なわてんグランプリ」ではゲーム、メディアデザイン、研究など各部門による表彰を行いました。
作品総数227点の中から選ばれた各賞をご紹介します。

実行委員長・総合情報学部長からのご挨拶

YouTubeの大阪電気通信大学チャンネルをご覧のみなさん、そしてコンベンションホールにお集まりのみなさん、こんにちは。

総合情報学部長の大西克彦です。

なわてんは、総合情報学部のデジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科の卒業研究・制作、そして情報学科の卒業研究・特別研究を発表するイベントです。

総合情報学部では、ゲームをはじめとする私たちの日常生活に深く関わる様々な情報技術の探求と発信に力を入れています。

その成果を発表するなわてんは今年度で22回目を迎えました。

今年度は、オンライン形式の展示227件と併せて、その中の113件の研究・作品をこの寝屋川キャンパスにて展示いたしました。展示を拝見すると、数年続いているオンラインの展示ページも内容が非常に洗練されてきてわかりやすい内容が多くなってきたと感じています。また、昨年度からこの寝屋川キャンパスでの展示を実施していますが、今年はさらに展示件数が増えて、より盛況になったのではないかと感じています。展示された皆さんも見に来ていただいた方に直接説明したり、議論したりすることで対面でなければ得られない貴重な体験をされたかと思います。皆さん準備が大変だったかと思いますが、このような展示の重要性を感じて、このイベントの今後の発展に大きな期待を抱いています。

このなわてんグランプリは、なわてんオンラインに出展された多くの研究・制作の中から、特に優れた成果を表彰する特別なイベントです。

今日は朝から心待ちにされている方も多いことでしょう。それでは、私の挨拶はここまでとし、「なわてんグランプリ」をさっそく始めさせていただきます!なわてんグランプリ、開始します!



後援会賞

戻らず、気にせず、能天気

ゲーム&メディア学科 松岡 誠治さん



石橋会長 講評

後援会賞、おめでとうございます。

今回後援会が選んだ「戻らず、気にせず、能天気」はキャラクターの動きが特徴的でとてもかわいさがあります。作者がこだわった音も二つの世界の違いを際立たせていると思います。ストーリーが見て分かりやすくワクワク感を持って最後まで楽しめました。最後は元の世界に戻れずどうなるのだろうとすっかりストーリーに引き込まれてしまいました。キャラは能天気に新しい世界で楽しむことになりました。作者の狙い通り、過去に囚われることなく未来に視線を向けて楽しもう!という気持ちになれるとてもいい作品です。

今後のご活躍を期待します。

松岡さんのコメント

私の作品が選ばれてとても嬉しいという気持ちでいっぱいです。この作品を制作する際にどのようにすれば立体的な音を聞かせることができるのか、2つに世界の雰囲気にとりあえず差をつけることができるのか、聞いたことも何度もありましたが山路先生や同じゼミの仲間に色々なアドバイスをもらいまして、そのおかげでこの作品をここまで作り上げることができました。本当にありがとうございました。

研究部門賞

審査委員 沼田哲史先生 講評

本日は、「なわてん」における研究部門賞の受賞者の皆さんの素晴らしい成果を称えたいと思います。

皆さんの研究はいずれも、現在の社会や技術の進歩を的確に捉え、独自の視点で課題に挑戦したものばかりでした。

量子力学の観測問題をゲームAIに取り入れるという試み、社会インフラの老朽化に対応する3Dモデリング支援技術、C++の学習環境をWeb上で提供する新しいアプローチ、時間を軸にした直感的なファイル探索インターフェース、そしてAIを用いたプライバシー保護技術。それぞれの研究が、現代の技術革新と社会の要請に応える重要なテーマを扱っています。

この成果は、指導教員の先生方の熱心なご指導と、そして何よりも、皆さんご自身の探究心と努力の賜物です。

今日を受賞をスタート地点として、さらに探求を深め、新たな挑戦へと進んでいってください。受賞された皆さん、本当におめでとうございます。



生成系AIを用いた属性ごとのマスクングによるプライバシー保護に関する研究

情報学科 岡村 将佑さん

岡村さん コメント

このような賞をいただけて本当に嬉しく思っております。生成系AIを用いた研究だったのですが、本当に研究室の中原先生や先輩の方々のご指導があってこそこの賞だと思っております。本当にありがとうございます。



カレンダー型ファイルエクスプローラの開発

情報学科 西村 直起さん

西村さん コメント

このような賞をいただけて大変嬉しく思います。ありがとうございます。また研究においても多大なるご支援やご指導いただいた先生方、友人たちに感謝してもしきれません。ありがとうございました。

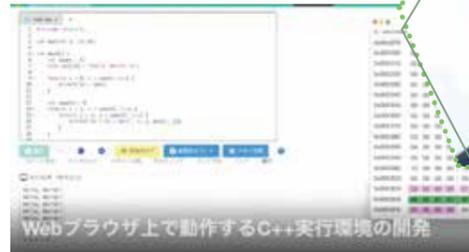


Webブラウザ上で動作するC++実行環境の開発

デジタルゲーム学科 西尾 琉登さん

西尾さん コメント

このような賞をいただけてとても光栄です。ありがとうございます。この学習環境というのは、僕だけでなく他にも2人のメンバーの合計3人で開発してきました。一緒に開発したメンバーにもお礼を言いたいです。指導していただいた沼田先生にもありがとうございます。本日はありがとうございました。



橋梁の点群データを対象とした3次元モデル作成支援技術の提案

情報学科 南 李玖さん

南さん コメント

このような賞をいただけて、とてもびっくりしています。嬉しく思います。まず初めにデータサイエンス研究室の中原先生、このような研究の着想を与えて下さりありがとうございます。ご指導もいただきましてありがとうございます。背景にしている橋梁になるといった社会インフラ設備というのは、やはり老朽化が進んでいて、研究が必須になってきている中こういった背景にして研究に取り組めたといったところで、光栄に思います。この研究自体は2年間くらいやっていて、ようやく成果として実ってきたなと嬉しく思います。



確率によって勝敗の決まるゲームを題材とした対戦可能なAIのための研究

デジタルゲーム学科 丸山 亮祐さん

丸山さん コメント

自分が興味をもったものをまとめたのを、こうやって評価していただけたのはすごく嬉しく思います。自己学習っていうのもAIを作るっていうのも初めてで、それを作るためのツールも初めて触るっていうところで結構最初の方は苦労したんですけど、続けていって魚井先生であったりあと院生の森山さんであったりとかこういうことを知れたら面白いよねって言ってもらえたのがすごくヒントになりましたので、その辺りもすごくありがとうございました。



メディアデザイン部門賞

審査委員 ナガタケシ先生 講評

メディアデザイン部門では、メディア表現・コミュニケーション・インタラクションのサブカテゴリごとに4~6人の教員の投票を基に受賞作が選ばれました。受賞作品には、最新技術を活用した3Dアニメーションや電子音楽、デジタル絵本、ジェネラティブVJソフトなど、多岐にわたるジャンルの作品が含まれています。惜しくも受賞を逃した作品も学生たちの情熱と努力の結晶であり、今後のクリエイティブ業界を担う新たな才能の芽吹きを感じさせるものでした。



モーションキャプチャとUE5によるリアルタイム3DMV制作

デジタルゲーム学科 太田 明育さん

太田さん コメント

この度は私の卒業制作を賞に選んで下さり、ありがとうございます。私はモーションキャプチャを2年生の頃から勉強してきました、その4年間の集大成として制作してきました。これらの制作にかけて、モーションキャプチャのスタッフや教職員の方々のおかげで制作することができました。本当にありがとうございました。



10曲入りフルアルバム「AGTK」

ゲーム&メディア学科 阿形 拓さん

阿形さん コメント

まずはありがとうございます。4年間の音楽経験の集大成としてしっかり1年間向き合ってきた10曲になっておりますので、まだ聞いていない方もすでに聞いていただいた方にもいっぱい聞いていただくと幸いです。本当にありがとうございます。



WebGLを用いた音楽表現

ゲーム&メディア学科 星名 翔さん

星名さん コメント

この度はこのような賞に選んでいただきありがとうございます。自分は音を出すまでに時間がかかって、完成するのかすごく心配だったんですけど、しっかり1曲作れてこのような賞をいただきありがとうございます。



ジェネラティブVJソフトウェアの開発を容易にするシステム

デジタルゲーム学科 椎名 貴太さん

椎名さん コメント

この度は選んでいただきありがとうございます。大学に入る直前からVJとプログラミングを用いたアートに興味をもって勉強し始めて、今4年かけてこのような賞をいただけて嬉しいです。このようなアートってすごい魅力的なんですけど、まだまだ流行っていないので自分と色々な方々で協力してもっと盛り上げていけたらなと思っています。ありがとうございました。



オリジナルフィギュア制作

デジタルゲーム学科 小野田 蓮さん

小野田さん コメント

この度はこのような賞に選んでいただきありがとうございます。この大学で受けた授業をきっかけに、興味を持って始めた3DCGと興味でやっていたプラモデル塗装の経験が、うまく作品に活かせたと思います。この作品は自分の好きな要素を沢山詰め込んだので、それが見ていただいた人にかっこいいという感想とともに伝われば嬉しく思います。この度はありがとうございました。



推し活が楽しくなる推し活アイテムの提案

ゲーム&メディア学科 南雲 摩耶さん

南雲さん コメント

今回はこのような賞に選んでいただいて誠にありがとうございます。自分の趣味である推しというものに知っていただけて、本当に嬉しく思います。今回本格的にレイアウトなどを行ってデザインの作品を作ったのは初めての経験だったので、このように評価をいただけて誠にありがとうございました。



人生ゲーム

ゲーム&メディア学科 上田 紗菜さん

上田さん コメント

今回は私の作品を賞に選んでいただいてとても嬉しく思っています。ありがとうございます。今回の作品は私自身うまく言語化できていない感情を映像に制作しましたので、何度も制作に行き詰ることがあったんですけど、由良先生ならびに同じゼミの仲間や友人・家族にアドバイス協力してもらったので形にできたと思います。本日はありがとうございました。



彼方より

デジタルゲーム学科 松永 ひらりさん

松永さん コメント

このような賞をいただいて大変光栄の思っております。WEBCMの制作とほぼ同時に卒業制作をさせていただいたんですけど、まさかこういった形で自分の作ったキャラクターのスタチューが手に入るとは思いませんでした。また今回の作品は本当にもう今まで自分が考えてきた世界観だったりとかそういったものも含めて、本当に自分向きに作った漫画だったんですけどもこういった形で多くの人に面白かったと言われてもらえるような機会をいただけて、本当に光栄に思っております。ありがとうございました。



うさぎとおおかみサマ

ゲーム&メディア学科 白井 妙江音さん

白井さん コメント

私の作品を選んでいただいて誠にありがとうございます。この作品は老若男女を問わず多くの方々にみていただきたいという思いを心がけて制作しましたので、こうした評価をいただけて大変嬉しく思っております。今後も自分らしい表現を更に磨いていこうと思います。改めまして本当にありがとうございました。



いいね! 十人十色の大学生活

ゲーム&メディア学科 前川 愛結さん



ゲーム部門賞

審査委員 高見友幸先生・森善龍先生 講評

森：ゲームと言っても様々なカテゴリがある事を今回の審査を通して改めて感じる事が出来ました。デジタルのゲームがあればアナログのゲームもあります。エンターテインメント性が高い従来のゲームがあれば、社会問題を題材としたシリアスゲームもあります。ソフトウェアとしてゲームを制作した物があれば、ハードウェアに特化したゲーム作品もあります。AIや、MRやVRなど新しい技術を用いたゲームも今回は多くみられました。その中でも今回表彰されたゲームは、審査員から高い評価を得られたものです。ゲームは、アナログでもデジタルでもプレイして初めて完結するコンテンツです。まだ展示時間は残っているので来場されている方は、映像の作品や研究の作品も含めて、是非体験して帰路について頂きたいと考えています。今年退官される高見先生にはこの20年間、デジタルゲーム学科でゲームを見続けていました。どの様な想いや気づきがあったか教えて頂いても宜しいでしょうか。

高見：ゲーム学科が出来た2003年から19年分の学生たちの卒業制作や卒業論文を見てきました。最近になってゲームの裾野が広がったと感じます。ゲームと言っても色々な形やテーマ、それを元にした作品が出来上がっています。例えば今年を受賞作品でも量子論を取り入れられたものがありました。また昨今、制作過程に関してもVRや3Dプリンターの利用など新しい技術の登場がありましたが、1年前からは生成系AIが台頭してきました。そういった新しい技術をゲームに活用し、既に順応している作品も多く出てきています。昔では考えられなかった制作過程と作品達です。大分と進んだ実感がありますね。

森：高見先生、ありがとうございます。ゲームを問わず、この4年間で様々な技術を学生の皆さんは学んだかと思えます。是非これを社会に出て活用して欲しいと考えています。受賞された皆さま、改めておめでとうございます。



人工言語でコミュニケーションするカードゲーム『リグヴォルト』

ゲーム&メディア学科 遠藤 竣さん

遠藤さん コメント

私の作品を部門賞に選出していただきありがとうございました。このリグヴォルトという作品は、未知の言語によるコミュニケーションをプレイヤーに提供するエスペラントという実在する人工言語を用いて制作した作品になります。プレイヤーにとってこのエスペラントという言語は未知のものであるという想定制作をしておりましたのでゲームのデザインやカードのデザインは、文法を知らずとも単語がなくとも楽しめるように注意をはらって制作したつもりです。そんな作品を評価いただいて嬉しく思っています。ありがとうございました。



『Maybe Bread』RFIDとM5Stickを用いたゲーム制作

ゲーム&メディア学科 亀山 瞳さん

亀山さん コメント

私の作品を部門賞に選んでいただきありがとうございます。この作品は最初私が「パンを食べたい」という思いから始ったゲームなんです。そこからいろんな人の協力を得てここまで完成することができました。まだまだ改善点や伸びしろのあるゲームなのでこの後も少しずつ成長させていきたいなと思っています。ありがとうございました。



ゲーム&メディア学科 高田 羽衣さん

高田さん コメント

この度は賞をいただけることになってとても光栄で嬉しく思います。私は主に3D関係の細かなサポート業務に関わらせていただきました。亀山さんの企画の素晴らしさ、高い技術力がなかったら、ここまでのクオリティに仕上がっていないと思うので本当に亀山さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ナガタ先生にもご尽力ご指導いただきましてありがとうございます。この度は本当にありがとうございました。



『Ethnic Picnic』 (民族音楽をテーマとするスマートフォン向けゲーム)

デジタルゲーム学科 西村 凱聖さん

西村さん コメント

このような賞をいただけたことありがとうございます。本ゲームは主に民族音楽に触れる機会を増やそう、より興味を持ってもらおうという目的のもと制作しました。音楽をBGMとし実際に存在するケル地方、ヨーロッパあたりの民族音楽を作曲してBGMとして組み込みました。ゲームのシステム上音楽をよく聞かなければクリアできないようなゲームになっておりますので、必然的に興味を持つような構造にできたかなと思います。またゲーム内で使用されているインタラクティブミュージックというプレイヤーの状況に応じて音楽が切り替わるのではなく、だんだんじわじわ気が付かないうちに音楽が変化していくというシステムを取り入れました。このようなシステムはデジタルゲームがあるスーパーファミコンの時代から存在する手法ですが、まだまだ一般的なゲームユーザーには広まっていないかなということで、システムを知ることによって遊ぶ側としてもより新しい視点での楽しみ方ができるようになればいいなと制作しました。この度はありがとうございました。



ゲーム&メディア学科 田中 あみさん

川西さん コメント

このような賞をいただきありがとうございます。私は『Ethnic Picnic』のデザインを担当したのですが、授業で習っていない、初めて行う制作が多くあり自分の中で考えて行ってきた努力が報われるこのような賞をいただいて本当に嬉しく思っています。ありがとうございました。



ゲームコントローラーのカスタマイズと制作

デジタルゲーム学科 小川 遥樹さん

小川さん コメント

この度は選んでいただきありがとうございます。自分は一風変わったハードウェアでのゲーム部門賞になったのですが、この4年間をかけて色々培った経験や知識を全て発揮した作品になったかなと思っています。今後自分のコントローラーにこのような箔がちょっとついたらすごく嬉しく思います。ありがとうございました。



かわかっこのいい3DアクションTPSの制作 『ガールズ×FIRE』

デジタルゲーム学科 橋口 始さん

橋口さん コメント

本作をつくるに至り成長の機会を与えてくださった森先生に感謝の意を示したいと思います。本当にありがとうございます。私たちが4年間培ってきた技術をたっぷりと詰め込んだ作品ですので、このような評価をもらえて大変光栄でございます。本当にありがとうございます。



デジタルゲーム学科 藤田 陸さん

藤田さん コメント

このような賞に選んでいただき誠にありがとうございます。本制作では初めてのアンリアルエンジンを使用することや、3Dゲームをつくる点など不安な要素もたくさんありましたが、森先生や先輩方の支えもありここまでものを制作することができました。ありがとうございました。



デジタルゲーム学科 金井 祥馬さん

金井さん コメント

このような賞をいただきとても光栄に思っております。ありがとうございます。また対面展示のほうでも昨日、今日とかなり多くの方に来ていただき本当にありがとうございます。制作にはアンリアルエンジンというものを使用しておりまして、4人とも4年生から知識0の状態から始めたゲーム制作になりました。今まで使っていたゲームを比較してモヤモヤしてころが折れそうになったことも多々ありましたが、折れずに1年間制作し続けてきてよかったなと思っています。本当にありがとうございました。

デジタルゲーム学科 富田 悠介さん

富田さん コメント

このような賞を受賞できて、とても光栄に思っております。皆さん、ありがとうございます。私も初めてアンリアルエンジンを使って、主に対戦機能という初めてのものを制作しました。今回のような展示の会場でいろんな人に楽しんでいただけてとても光栄に思っています。ありがとうございました。

均衡の撤退

ゲーム&メディア学科 川西 幹弥さん

川西さん コメント

本日はこのような賞をいただきありがとうございます。本作は、色々初挑戦なこともあり失敗もしたんですけど最後までやり抜くことが出来て成果を得たのは、私個人の力でなく相談にのってくださり、ディスプレイに協力してくださった木子ゼミの仲間や木子先生のおかげだと思っています。本日は本当にありがとうございました。



MR技術を使用したモグラ叩きゲーム

ゲーム&メディア学科 金井 瑞樹さん

金井さん コメント

この度は、素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思っております。僕の制作したゲームは、もぐらたたきのような一見シンプルなゲームに見えるのですが、MRを使った俯瞰的な視点と主観的な視点の融合というのをコンセプトに現実世界を俯瞰的に見えるようなゲームを目指して制作しました。言葉ではなかなか伝わりづらいと思いますので、よかったらブースの方に遊びに来ていただけたらと思います。改めましてありがとうございます。



総評 塩田学長

皆さんこんにちは。

昨日今日となわてんがこのように開催されたこと楽しく大変嬉しく思います。

出展された学生の皆さん準備お疲れ様でした。

また受賞された学生の皆さん受賞おめでとうございます。

皆さんの多くが入学されたときはちょうどコロナがまだ猛威をふるっている時期で自分の学生生活どうなるんだろうかという心配があったかと思います。

そういう中で成果をまとめ上げてこのように発表されたこと大学として大変誇らしいことだと思いました。

昨日今日と私も拝見してまいりましたがこの4年間の集大成の皆さんの熱量を感じ取ることが出来ました。このなわてん昨年に続いてこの寝屋川で開催されるということになわてんの事をにやわてんと命名させてもらったんですけどもどうやら定着しなかったようでもう言うのはやめるんですけどもこの寝屋川であるにやわてん、大変総合情報学部らしい取り組みだと思いました。

オンラインでも開催するという事ですから時間と空間を超えて成果を発表しあう今の時代に相応しい方法だと思います。

そのうち総合情報学部はこのなわてんをVR空間でやろうかという風な時代がくるのではないかということをお心待ちにしております。

さて皆さん方の成果見してもらいました。

出来栄も素晴らしいものが多かったんですが、何よりも素晴らしいと思ったのはその制作過程。多分締め切りに間に合わせるために皆さん一生懸命になったんだろうと思いますし、また先生方へのプレゼンテーション発表それから今日会場に来た方々への発表は社会にでたら必ずいきること、避けて通れないことになると思います。

多分社会に勤めるとですね、この納期というやつとクライアントや上司へのプレゼンというのは多分サラリーマン、プレッシャーを感じる2つの事、大きなことだと思えます。皆さん方がこういうことを乗り越えて今日の日を迎えられるということが必ず社会で役に立つと確信しています。

これからの社会でまた大学院でその技術をブラッシュアップしていただいて皆さん方がさらに一層活躍されることを祈っています。

最後になりますがこのなわてんを支援していただいた後援会の皆さん協力本当にありがとうございました。学生の皆さん新しい社会での活躍心から願っております。

本日はどうもお疲れさまでした。



後援会による

学生応援企画！カレーの日！！

2025年度は年に8回、カレーの日を実施

対象商品：カレーライス 中サイズ

通常価格 385円(税込)

→特別価格 250円(税込)

4/30(水) 5/22(木) 6/18(水) 7/9(水)
10/9(木) 11/12(水) 12/11(木)
2026/1/7(水)



1日300食限定
両キャンパスにて実施

寝屋川キャンパス・四條畷キャンパス 生協食堂

父母 の 声 Voice

希望の春、目標に向かって踏み出す一歩

情報工学科 2年 母

子どもが大学に進学してから二度目の春を迎えました。

昨年を振り返ると、新しい環境に慣れることに精一杯で、不安も多かったように思います。

それでも、資格取得という目標に向かって努力し、試験に合格したことで自信がついたようでした。

2回生となり、専門的な学びが深まる中で、さらに視野を広げ、新たな目標を見つけ、自分の未来に繋がる大切な時間となることを願いながら、陰ながら応援していきたいと思います。

後援会役員への活動に参加して

情報工学科 卒業生 母

息子が本学に入学したのはコロナ以前。

1回生の時は、部活の合宿や学園祭での模擬店等、いわゆる学園生活を楽しんでいました。当時は私も後援会でいろいろな活動に参加させていただきました。

コロナ禍では活動は制限されたものの学生さん達の役に立つ為の支援は常に続けられていて素晴らしいと思いました。

年間で6回ほど開催される役員会では、後援会の活動や支援している内容について報告があり、学生さん達が喜んでくださっている様子等がわかり、嬉しく思える時間を過ごしました。

また、学部の先生方、就職部等からの最新の情報を得られるのも役員会ならでは。自分の子供だけでなく、学生さんたちの頑張りを知ることが出来る良い機会でした。

後援会の活動の一つであるキャンパス探訪にも参加しましたが、久しぶりにキャンパスで受ける

授業にドキドキ。私自身は文化系なので、理系の授業なんてどんなのかしらと更にドキドキ。授業というよりは真面目に授業に取り組んでいる学生さんたちを見て感心し、エールを送りたい気持ちでいっぱいになりました。

また、学生さんが利用する食堂での食事に舌鼓を打ち、美味しい食事が提供されていて嬉しく思ったものです。

大学祭では後援会がカフェと子供向けの遊び場を提供し、来場された方に喜んでいただけてとても嬉しく感じました。そして、そのお手伝いにおける役員の方々の結束力！若い学生さんたちに負けないほど協力し合い、連携してこなすカフェや遊び場での作業に充実感を感じたのは私だけではないと思いました。

大学生にもなると親は離れなくては行けないのでは？親が関わるなんてと思われる親御さんもしらっしゃると思いますが、後援会の活動は当大学の学生さんを支援するものです。

学生さんたちが学びやすく過ごしやすい環境について考えたり、報告を貰ったり、社会へ旅立つ前の大学生だからこそその活動を支援できる後援会。私は参加出来てとても良かったと思っています。もちろんその中で同じ大学生の親として知り合いや友人が増え、自分の経験の幅も増やせたと感じています。

もし、後援会の活動に参加しようか悩んでいらっしゃる方がいらしたら、是非！！と背中を押したいと思います。子供さんと共に大阪電気通信大学でのキャンパスライフを楽しもうではありませんか！

最後になりましたがこれからの大阪電気通信大学と後援会の発展を心よりお祈り申し上げます。



ご縁に感謝

基礎理工学科 卒業生 母

この春無事卒業をむかえる事が出来ました。

思い起こせばコロナ元年での大学受験は登校もままならない中、大学では続々とオープンキャンパスが中止になり志望校を決めかねていました。そんな中、担任の先生から勧められたのが大阪電気通信大学でした。

親子共にノーチェックだったため、まずはHPから所在地と交通手段を確かめました。

その時、完全予約・少人数のみでのオープンキャンパスを開催している事を知り、早速参加させて頂きました。

個別相談会ではとても丁寧に教えていただき好印象を持った事を覚えています。その帰り道突然「この大学を志望校にするわ」と本人から決意表明されたときは驚きました。その後無事ご縁をいただき電通生になれ入学式で真新しいスーツに袖を通した姿は晴々しくキラキラしていました。

コロナ禍で授業はほとんどがリモートでしたが、それでも一部は大学のご尽力により対面授業があり、そこでお友達が出来少しずつ大学生活に慣れて行けました。

また、それと平行してクラブはまだ活動停止中でしたが入部は受け付けていた為、入学前から憧れていた部に入部し、先輩方からの個人指導を受けたりして充実したスタートが切れました。

学年が上がると授業内容がより専門的になり苦戦していましたが、先生方・友人・先輩に助けを頂ながら知識を広げていました。また、クラブでは部をまとめる立場になり、時には悩み模索している姿に成長を感じていました。

4年次生になると就活・教育実習・卒研と慌ただしくなりましたが、それぞれの担当関係者の皆様のお陰で1つ1つに向き合うことが出来たのだと思います。

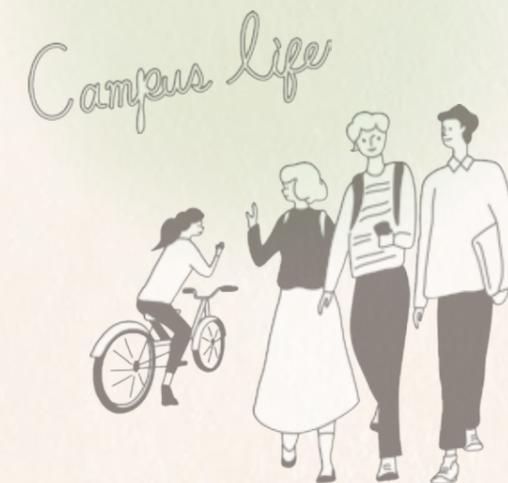
大学での出来事を楽しそうに話してくれ一緒に笑ったり、相談事にアドバイスをしたり大学祭等の行事について報告し合ったり親子共に本当に楽しい4年間でした。

学位授与式には親子で参列させて頂きこの日をもって“学生”を卒業し4月からは新社会人として新たな一歩を歩き始めました。親としてはホッとしたと同時に少し寂しい気持ちがありますが、こ

れからは笑い楽しみ、時には悩みながら成長して行く我が子の背中を見守り続けたいと思います。

最後になりましたが、大阪電気通信大学で出会えた全ての人達とのご縁に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



強化指定クラブ



硬式野球部



女子バスケットボール部



esports project

体育系 Sports



ソフトテニス部



合気道部



弓道部



スキー部



柔道部



バドミントン部



剣道部



ハンドボール部



バレーボール部



少林寺拳法部



軟式野球部



サッカー部



卓球部



男子バスケットボール部



陸上競技部



フットサル部



自動車部



空手道部



硬式庭球部



サイクリング部

文化系 Culture



吹奏楽団



電子計算組織研究会



軽音楽部



文道部



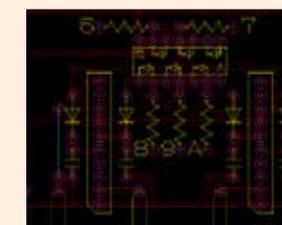
ギターマンドリンクラブ



デザインコミュニケーション部
WAVE



SF 研究会



電子技術研究部



ストリート部



放送研究会



Photo 部



通信研究会



奇術愛好会



音響研究会



美術部



映画研究会



ボランティア同好会



管弦楽団



後援会はクラブ活動に支援・功労サークルに対する援助を行っております。
 大学のクラブ活動をご紹介します。



たくさんの表紙デザイン応募ありがとうございました

後援会たより（2025年春号・秋号）の表紙は厳選なる選考のうえ、下記作品に決定しました。
 たくさんのご応募ありがとうございました。

2025年春号（今回）に決定!!



ゲーム&メディア学科 佐武美咲さん

2025年秋号に決定!!



ゲーム&メディア学科 川向俊輝さん



ゲーム&メディア学科 那須啓太さん



ゲーム&メディア学科 塚本陽生さん



デジタルゲーム学科 下津佑太さん



ゲーム&メディア学科 今川和奏さん



ゲーム&メディア学科 佐武美咲さん



デジタルゲーム学科 江口 陽さん



デジタルゲーム学科 江口 陽さん



ゲーム&メディア学科 浦野七海さん



ゲーム&メディア学科 森田 翔さん



情報学科 保護者



デジタルゲーム学科 遠藤沙瑠音さん



デジタルゲーム学科 保護者



デジタルゲーム学科 保護者



ゲーム&メディア学科 上田颯大さん



ゲーム&メディア学科 上田颯大さん



ゲーム&メディア学科 寺井 健さん



ゲーム&メディア学科 小西瑛心さん



デジタルゲーム学科 橋本日菜さん



デジタルゲーム学科 橋本日菜さん



デジタルゲーム学科 村林 虎さん



デジタルゲーム学科 麻生悠太さん



デジタルゲーム学科 黒井真奈美さん



大学への問い合わせ・キャンパス案内図

学生生活についてのご相談は遠慮なくお申し出ください。担当部署は次のとおりです。

寝屋川キャンパス

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 TEL 072-824-1131 (代)

- 学部**
- 工学部** ⑤電気電子工学科 ⑧電子機械工学科 ①機械工学科
基礎理工学科 (⑨数理科学専攻/⑩環境化学専攻)
 - 情報通信工学部** ⑥情報工学科 ⑦通信工学科
 - 建築・デザイン学部** 建築・デザイン学科 (③建築専攻/④空間デザイン専攻)

大学院 工学研究科 工学専攻 (先端理工学コース, 電子通信工学コース, 制御機械工学コース, 情報工学コース, 建築学コース)

図中の **A** ~ **Z** は号館を表しています
(**A** → A号館)



相談事項	担当部署
ココロのこと, からだのこと, 対人関係のこと, 学修・進路のこと, 特に悩みはないけれど, もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター (J号館6階)

OECUIノベーションスクエア (A号館)	
相談事項	担当部署
教育課程, 履修登録, 授業, 試験, 成績, 進級, 卒業, 欠席届, 転科願, 転部願, 成績関係の証明書及び卒業証明書の発行, クラブなど課外活動, 奨学金制度, 下宿, アルバイト, 学生の身体状況, 休学・退学の願い出, 学費延納願, 保証人変更届, 住所変更届, 在学証明書, 学割, 健康診断証明書の発行等に関すること	寝屋川学務課
海外留学 (オンラインプログラムを含む), 留学生と在学生との交流に関すること	国際交流センター
就職に関すること	キャリアセンター寝屋川オフィス
課外講座に関すること	資格学習支援センター
学費に関すること	会計課
大学院入学試験及び編入学試験に関すること	入学センター

四條畷キャンパス

〒575-0063 四條畷市清滝1130-70 TEL 072-876-3317

- 学部**
- 医療健康科学部** ①医療科学科 ②理学療法学科 ③健康スポーツ科学科
 - 健康情報学部** 健康情報学科 (④医療工学専攻/⑤理学療法学専攻/⑥スポーツ科学専攻)
 - 総合情報学部** ⑦デジタルゲーム学科 ⑧ゲーム&メディア学科 ⑨情報学科

大学院 医療福祉工学研究科 医療福祉工学専攻
総合情報学研究科 総合情報学専攻 (デジタルアート・アニメーション学コース, デジタルゲーム学コース, コンピュータサイエンスコース)

図中の **1** ~ **12** は号館を表しています
(**1** → 1号館)



四條畷キャンパス (1号館)	
相談事項	担当部署
教育課程, 履修登録, 授業, 試験, 成績, 進級, 卒業, 欠席届, 転科願, 転部願, 成績関係の証明書及び卒業証明書の発行, クラブなど課外活動, 奨学金制度, 下宿, アルバイト, 学生の身体状況, 休学・退学の願い出, 学費延納願, 保証人変更届, 住所変更届, 在学証明書, 学割, 健康診断証明書の発行等に関すること	四條畷学務課
学費に関すること	学事・会計課
就職に関すること	キャリアセンター四條畷オフィス
課外講座に関すること	資格学習支援センター
ココロのこと, からだのこと, 対人関係のこと, 学修・進路のこと, 特に悩みはないけれど, もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター

2025年度 後期行事予定表

	1(水)	創立記念日
10月	2(木)	後期授業開始日
	13(月・祝)	スポーツの日 授業日
	18(土)	補講日

	3(月・祝)	文化の日 授業日
11月	24(月)	振替休日（授業日）
	22(土)・29(土)	補講日

	1(月)	12月期学位授与者発表（院）
12月	12(金)	12月期学位授与式
	20(土)	補講日
	21(日)	なわフェス
	24(水)	授業終了
	25(木)・26(金)	振替休日（10/13・11/ 3 授業実施に伴う振替）
	25(木)～2026/1/4(日)	冬季一斉休業

	5(月)	授業再開
1月	9(金)	後期授業終了
	13(火)	補講日
	14(水)～16(金)・19(月)・20(火)	後期定期試験
	23(金)・26(月)・27(火)	後期追試験

	2(月)	振替休日（11/24 授業実施に伴う振替）
2月	7(土)～ 8(日)	なわてん
	12(木)～13(金)	成績発表
	26(木)・27(金)・3/2(月)	卒業再試験

	7(土)	教育懇談会
3月	9(月)	大学院入学試験
	11(水)	成績発表
	18(水)	学位授与式

（昭和 38 年 7 月 13 日制定）
令和 2 年 5 月 30 日改正

大阪電気通信大学後援会規約

（名 称）
第1条 本会は大阪電気通信大学後援会と称する。
（目 的）
第2条 本会は大阪電気通信大学、同大学院博士課程（前期）（以下「大学」という。）と家庭との連絡を密にし、教学の使命達成に協力するとともに大学の発展向上に寄与することを目的とする。
（事 業）
第3条 本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。
1 学生の福利厚生に対する援助
2 学生の就職に対する協力援助
3 教育上必要な施設及び研究に対する援助
4 教育上必要な家庭との連絡
5 その他、本会に必要と認めた事業
2 前項の援助に関する必要事項は別に定める。
第4条 本会は事務局を大阪電気通信大学内に置く。
2 本会の事務処理は大学事務局に委属することができる。
（支 部）
第5条 本会に支部をおくことができる。
2 支部についての細則は別に定める。
（会 員）
第6条 本会の会員は次のとおりとする。
1 正会員 大学に在籍する学生の保証人
2 特別会員 本会の趣旨に賛同し、これに協力援助 を希望する者
（役 員）
第7条 本会に次の役員をおく。
会長1名、副会長2名、会計11名、常任幹事1名、幹事及び学内幹事（大学の教職員の中から選任される役員をいう。）若干名、会計監査2名（役員を選任）
第8条 本会の役員は総会において選任する。ただし、常任幹事及び学内幹事は、次項で定めるところによる。
2 学内幹事は、副学長、学部長、共通教育機構長、大学事務局学事部長、学務部長、学務部事務部長、就職部長、大学院代表、四條線事務部長、学務部次長、就職部次長、入試部次長、学事課長及び会長が委属する教職員とする。
3 常任幹事は、大学事務局長に委属する。
（役員任期）
第9条 本会の役員任期は1年とし、留任を妨げない。
（役員職務）
第10条 役員職務は次のとおりとする。

（1）会長は本会を代表し、会務を総括する。

（2）副会長は会長を補佐し、会長不在又は事故あるときはその職務を代行する。

（3）常任幹事は会長の委任を受けて、本会の事業の企画立案及び運営にあたる。

（4）幹事及び学内幹事は本会の運営その他、会務推進について意見を具申する。

（5）会計は本会の会計事務を処理する。

（6） 会計監査は本会の会計を監査する。

（顧 問）

第11条 本会が必要に応じて若干名の顧問をおくことができる。

2 顧問は役員会または役員の求めに応じて会の事業への助言または協力を行う。

3 顧問は役員会において選任し、総会において承認を受けるとする。

4 顧問の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。

5 顧問は総会、役員会に出席するが議決には加わらない。

（相談役）
第12条 本会が必要に応じて若干名の相談役をおくことができる。

2 相談役は役員会または役員の求めに応じて会の事業への助言または協力を行う。

3 相談役は役員会で委属する。

4 相談役の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。

5 相談役は特に必要のない限り、総会、役員会へは出席しない。
（総 会）

第13条 定期総会は、年1回開催し、会長が議長となり、議長の開会宣言をもって総会の成立とする。

2 総会では、事業計画、予算、決算、役員を選任及びその他必要事項についての承認を受けるものとする。

3 会長が必要と認めるとき、又は会員の5分の1以上の請求があったときは、臨時総会を開くものとし、会長が議長となる。

4 議決は、出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長がこれを決する。

5 災害、感染症の流行等で総会が開催できない場合は、前年度役員が第2項で定める事項を決定する

（役員会）
第14条 役員会が必要に応じ随時開催し、事業計画の具体的推進について審議する。

（収 入）

第15条 本会の収入は、会費及びその他の寄付金をもって充当する。

2 大学各学部の会員の会費は入学時に20,000円を徴収する。

3 大学院の会員の会費は10,000円とし、入学時に徴収する。

4 大学各学部へ編入学した会員については編入学時に10,000円を徴収する。

（年 度）
第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

（改 廃）

第17条 この規約は、総会の議決により改正することができる。

（ 附 則）
この規約は、平成29年6月10日から改訂・施行する。
附 則
この規約は、平成30年8月4日から改訂・施行する。
附 則
この規約は、平成30年10月13日から改訂・施行する。
附 則
この規約は、2019年5月18日から改訂・施行する。
附 則
この規約は、2019年12月7日から改訂・施行する。
附 則
この規約は、2020年5月30日から改訂・施行する。

大阪電気通信大学後援会見舞金内規

（甲恵の場合）

1. 会員または会員の配偶者が死亡した場合

弔慰金 30,000円・楮1対・弔電（後援会名）

2. 学生が死亡した場合

弔慰金 30,000円・楮1対・弔電（後援会名）

3. 大学の教職員および教職員の配偶者・父母・子女が死亡した場合

弔電（後援会名）

（災害見舞の場合）

会員の住居（学校へ届出の現住所）等が災害のために損害を受けたとき、次の通り災害見舞金を贈る。

1. 住居が全壊・全焼したとき 30,000円

2. 住居が半壊・半焼したとき 20,000円

3. 床上浸水したとき 10,000円

平成13年4月1日制定

最近改正 2022年4月29日

の全額を返還しなければならない。

（返済猶予）

第14条 委員会は、奨学生であった者が、本学の大学又は大学院へ引き続き入学した場合、その他正当な事由によって奨学金の返済猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

2 前項の場合、委員会は、改めて奨学金の返済について指定し、本人はその指定に従わなければならない。

（返済金）

第15条 奨学生であった者が、正当な理由なく奨学金の返済を怠ったときは、年5%の延滞利息を徴することができる。

（返済免除）

第16条 委員会は、次の各号のいずれかに該当することにより、奨学金の未返済額の全部又は一部について返済不能となったときは、本人又は連帯保証人の願い出によって、その全部又は一部の返済を免除することができる。

（1）奨学生又は奨学生であった者が死亡したとき

（2）奨学生又は奨学生であった者が身体の障害等を持つに至ったとき

（会計監査）

第17条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。

2 前項の会計年度に係る決算終了後、会計監査を経て委員会に報告する。

3 監査人は、後援会及び友電会よりそれぞれ選出された者とする。

（所管）

第18条 この規程に関する事務は、学務部において行う。

（改廃）

第19条 この規程の改廃は、委員会において審議及び決定するものとする。

附 則

1 この内規は、平成13年4月1日から施行する。

2 大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金規則は、廃止する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、2022年4月29日から施行する。

2 大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用細則（平成13年4月11日制定）は、廃止する。

大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用規程

（目 的）
第1条 この規程は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の学生で、経済的理由により修学困難な者に学費を貸与して、学業を継続させることを目的とする。

（名 称）
第2条 前条の学費を大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金（以下「奨学金」という。）とい、奨学金の貸与を受ける者を大阪電気通信大学貸与奨学生（以下「奨学生」という。）という。

（財 源）
第3条 本奨学金は、大阪電気通信大学後援会（以下「後援会」という。）及び一般社団法人大阪電気通信大学友電会（以下「友電会」という。）から拠出された出資金並びに有志の寄付金を財源とする。

（委員会）
第4条 奨学生の選考及び奨学金に関する諸事項を審議するため、大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の者をもって組織する。

（1）学務部長、及び学務部事務部長又は学務部次長

（2）後援会より選出された者 若干名（内1名を会計監査人とする。）

（3）友電会より選出された者 若干名（内1名を会計監査人とする。）

3 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員長は学務部長とする。

5 委員会が必要により委員長が招集する。

（奨学金の貸与を受ける者の資格）

第5条 奨学金の貸与を受けることができる者は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の在学学生で、次の条件を満たしている者とする。

（1）学費支弁が困難な者

（2）人物、学業成績とも良好な者

（奨学金の額と利息）

第6条 奨学金の額は半学期の学費相当額とする。

2 貸与した奨学金には利息を付さない。ただし、返済を怠った際の取扱いについては第15条に定めるとりとする。

（貸与期間）

第7条 奨学金を貸与する期間は、本学に在籍している期間内とする。

（返済方法）

第8条 奨学金の返済方法は、次の通りとする。

（1）返済は、貸与の終了した年度の翌年度から年額返済とし、5年以内に全額を返済する。

（2）1年間の返済額は、原則として貸与額の2割とする。



後援会 たよ No.54 春

2025（令和7）年5月10日発行

編集発行：大阪電気通信大学後援会

〒572-8530 寝屋川市初町18-8（P号館 1階 105室）
TEL 072-825-7600

<http://www.dentsukouenkai.com/>
E-mail : office@dentsukouenkai.com

印刷：共同プリント株式会社

